

ハエ目 Diptera

鈴木 裕¹⁾・宮谷秀明¹⁾・小林 貞²⁾

Yutaka Suzuki, Hideaki Miyatani & Tadashi Kobayashi

要 約

1. 丹沢山塊 (大山を含めない) から 58 科 448 種の双翅類 (ハエ目) を記録する。これは前回調査 (1997) に比して倍する種類数となった。
2. これらの中には全国的に見ても貴重な種類もあり、神奈川県から初めて記録される種類も数多くあった。それらはキアブモドキ科のマツムラキアブモドキ、ミツボシキアブモドキ、ムシヒキアブ科のヤマトイシアブ、ハナアブ科ではオオシマハナアブ、ヨコモンハナアブなど、メバエ科のジョウザンメバエ、クロフタオレメバエなどの他数種を数える。また、丹沢山塊から初めて記録された種類は多数に亘る。
3. この調査により神奈川県から知られるハエ目昆虫は 1000 種を超えることになったが、鈴木他 (2004) で述べたように日本産種の約 7000 種中の 2400 種が神奈川県に生息していると推測すると解明度は 4 割強であろう。このことは他の昆虫群に比して、ハエ目昆虫の調査が大変遅れていることを表わしていると言えるであろう。今後またゆみない調査を継続していかねばと痛感する。

はじめに

丹沢大山自然環境総合調査 (1997 年報告書発行) の最初から数えると 10 年をゆうに越える歳月がたった。この報告をした後も、丹沢山塊の蛭が岳、大室山などの調査を継続し、各分類群の方々の多くからその後の成果が、それぞれ神奈川県昆虫談話会発行の「神奈川県昆虫」に発表された。筆者らも単独ではあるが、各山系に足を運び双翅目の採集を行っていた。筆者の一人鈴木は 1999 年夏、丹沢山塊の南に位置する大野山へ赴き調査中、その数日前起きた西丹沢・玄倉での水難事故のため、多数の人たちが丹沢湖にボートを乗り入れ、懸命の捜査をしている姿の一部始終を山の上から見るようになった。それ以降、その光景がトラウマになったのか、西丹沢はおろか丹沢山塊へ足を踏み入れることができなかった。

この間、脇一郎氏が大活躍され、丹沢山塊をはじめとして各地より双翅類の新知見を次々に発表されていた。鈴木自身も早く報告をという気持ちばかりで、あれから 5 年近くになってやっと遅ればせながら数回ほど丹沢山塊に入り昆虫調査をした。

一方宮谷は、今回調査では特定の地域を重点的に調査することにし、檜洞丸を調査対象地に選んだ。檜洞丸山頂では、6~7 月にミヤマボタヤサラサドウダンツツジの花が咲き、この花での採集を試みた。また山頂付近を占有するマルバダケブキ、バイケイソウ、シロヨメナ、ホソエノアザミ等は、あまり魅力的な訪花昆虫は採集できなかったが、これらの草本や中低木の葉上に静止、または葉上を飛翔する双翅目は少なくなく、目視による採集を行なった。立ち枯れや倒木に飛来するハエ目にも注意を払いつつ調査した。それらの調査により、丹沢山塊からは初めて記録されるハエ目昆虫を数多く明らかにすることが出来た。

この報告書作成にあたっては宮谷が、キアブモドキ科、ムシヒキアブ科、アブ科を主に担当し、鈴木がハナアブ科、メバエ科をはじめとしたその他を担当した。

なお、ユスリカ類やブユ類については筆者らには全く歯が立たない分野で、丹沢の溪流には多くの種類が生息していると思われるが、今回も新知見を盛り込むことが出来ないままでこの報告を終わらなければならない無念さがあった。ところが今回、ユスリカ類について国内のこの類で指導的役割をされている小林貞先生より心強いお申し出があり、この類の全てをお任せした。これにより多くの新知見が加わるようになった。

しかしながら、鈴木や宮谷だけの調査に限界はあり、昆虫調査に携わった数多くの人たちが残された貴重な標本を活用させて頂いた。これらにより、多くの新知見を明らかにすることが可能となった。これら標本は極力活用するよう努めたが、筆者らの力量不

足で、折角の情報を生かせなかった標本もいくつかあり、感謝とともにお詫びをする。これらは今後の研究課題として、後日何らかの形で明らかにしていきたい。以下にハエ目調査に協力していただいた方々のお名前を記して感謝の意に代えさせて頂く。(アルファベット順、敬称略)

秋山秀雄、芦澤一郎、藤田 裕、加賀玲子、荻部治紀、加藤 学、河合秀樹、久保浩一、小林敏男、浜口哲一、松原 豊、松本和馬、丸山 清、長瀬博彦、中村進一、岡部洋一、佐藤禎一、新堀豊彦、田尾美野留、高桑正敏、塚原一秀、渡 弘

最後に、神奈川県ハエ目について、多くの貴重な教示を頂いている玉木長寿、脇一郎、久保浩一、米津 晃、春沢圭太郎、古田 治、宇津木 望の諸氏はじめ双翅目談話会の各位にたいし、心より感謝の意を表わす。

凡 例

1. 種名及び種名の配列は原則として日本昆虫総目録 (1989, 1990) (以下、総目録と略す) に準じたが、一部は後述する文献にしたがった。
2. データの記入は、過去の文献上にあるものを記し、その後新産地のデータを記した。ただし、同一地点のデータであっても後日のためには明記すべきと考えたものについては、筆者らの判断で記入したこともある。
3. 採集者については、データの後の括弧内に氏名を記したが、以下の 5 名はそれぞれ略して記した。荻部治紀: 荻部、久保浩一: 久保、宮谷秀明: 宮谷、鈴木 裕: 鈴木、高桑正敏: 高桑。

ハエ目 DIPTERA

糸角亜目 NEMATOCERA

ガガンボ科 Trichoceridae

小型の種が多く今回の調査では収集されなかった。神奈川県から 3 種、その内 2 種が丹沢山塊から記録されている。

フユガガンボダマシ *Trichocera hiemalis* (De Geer)

清川村東丹沢県民の森 (中村・脇, 2004)

コンゴウガガンボダマシ *Trichocera mirabilis* Alexander

清川村東丹沢県民の森 (中村・脇, 2004)

ガガンボ科 Tipulidae

ガガンボ科は中村・脇 (2004) と鈴木他 (2004) により神奈川県から 66 種が記録されているが、丹沢山塊での記録は殆どなく今回記録する 18 種の内、9 種が丹沢からは初めて記録される。また、神奈川県から初めて記録されるものは 3 種あった。ガガンボ類は今後の調査によりさらに多くの種類が追加されると思われる。

ガガンボ亜科 Tipulinae

表 1. 丹沢産ハエ目・科別種類数一覧.

| ハエ目 DIPTERA | 確定種数 | 不詳種 | 合計数 | 県産種数 |
|--------------------------------------|------|-----|-----|------|
| 1. ガガンボダマシ科 Trichoceridae | 2 | | 2 | 3 |
| 2. ガガンボ科 Tipulidae | 19 | | 19 | 73 |
| 3. コシボソガガンボ科 Ptychopteridae | 0 | | 0 | 2 |
| 4. アミカ科 Blephariceridae | 7 | | 7 | 7 |
| 5. チョウバエ科 Psychodidae | 2 | | 2 | 4 |
| 6. ホソカ科 Chaoboridae | 0 | | 0 | 2 |
| 7. カ科 Culicidae | 3 | | 3 | 24 |
| 8. ブユ科 Simuliidae | 13 | | 13 | 23 |
| 9. スカカ科 Ceratopogonidae | 0 | 4 | 4 | 7 |
| 10. ユスリカ科 Chironomidae | 4 | 29 | 33 | 135 |
| 11. クチキカ科 Axomyiidae | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 12. ハルカ科 Cramptonomyiidae | 1 | | 1 | 1 |
| 13. ケバエ科 Bibionidae | 6 | | 6 | 6 |
| 14. Pleciidae | 2 | 1 | 3 | 4 |
| 15. ニセケバエ科 Scatopsidae | 0 | | 0 | 1 |
| 16. タマバエ科 Cecidomyiidae | 0 | | 0 | 2 |
| 17. ナミキノコバエ科 Mycetophilidae | 2 | 1 | 3 | 3 |
| 18. クロバネキノコバエ科 Sciaridae | 2 | | 2 | 10 |
| 19. Rachiceridae | 1 | | 1 | 1 |
| 20. クサアブ科 Coenomyiidae | 1 | | 1 | 2 |
| 21. キアブモドキ科 Xylomiidae | 4 | | 4 | 5 |
| 22. ミズアブ科 Stratiomyidae | 15 | | 15 | 33 |
| 23. シギアブ科 Rhagionidae | 5 | 1 | 6 | 8 |
| 24. ナガレアブ科 Athericidae | 3 | | 3 | 5 |
| 25. アブ科 Tabanidae | 9 | | 9 | 18 |
| 26. コガシラアブ科 Philopodae | 2 | | 2 | 2 |
| 27. ツリアブ科 Bombyliidae | 7 | | 7 | 9 |
| 28. ツルギアブ科 Therevidae | 0 | | 0 | 4 |
| 29. ムシヒキアブ科 Asilidae | 26 | 1 | 27 | 38 |
| 30. オドリバエ科 Empididae | 9 | | 9 | 21 |
| 31. アシナガバエ科 Dolichopodidae | 1 | | 1 | 4 |
| 32. ヤリバエ科 Lonchopteridae | 2 | | 2 | 2 |
| 33. ヒラタアシバエ科 Platypezidae | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 34. ノミバエ科 Phoridae | 0 | | 0 | 1 |
| 35. アタマアブ科 Pipunculidae | 1 | | 1 | 11 |
| 36. ハナアブ科 Syrphidae | 99 | 3 | 102 | 132 |
| 37. メバエ科 Conopidae | 4 | | 4 | 8 |
| 38. ナガズヤセバエ科 Neriidae | 0 | | 0 | 2 |
| 39. マルズヤセバエ科 Micropezidae | 1 | | 1 | 1 |
| 40. ハネオレバエ科 Psilidae | 3 | | 3 | 5 |
| 41. ハネオレホソバエ科 Strongylophthalmyiidae | 1 | | 1 | 2 |
| 42. フトモモホソバエ科 Megamerinidae | 1 | | 1 | 1 |
| 43. デガシラバエ科 Pyrgotidae | 1 | | 1 | 4 |
| 44. ミバエ科 Tephritidae | 29 | | 29 | 57 |
| 45. ヒロクチバエ科 Platystomatidae | 6 | | 6 | 8 |
| 46. ハネフリバエ科 Otitidae | 0 | | 0 | 1 |
| 47. ヤチバエ科 Sciomyzidae | 2 | | 2 | 6 |
| 48. ハマベバエ科 Coelopidae | 0 | | 0 | 1 |
| 49. ベッコウバエ科 Dryomyzidae | 2 | | 2 | 2 |
| 50. ツヤホソバエ科 Sepsidae | 3 | | 3 | 4 |
| 51. シマバエ科 Lauxaniidae | 7 | | 7 | 19 |
| 52. クロツヤバエ科 Lonchaeidae | 0 | | 0 | 1 |
| 53. ミバエモドキ科 Pallopteridae | 1 | | 1 | 1 |
| 54. Anthomyzidae | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 55. Periscelididae | 0 | | 0 | 1 |
| 56. Asteiidae | 0 | | 0 | 1 |
| 57. トゲアシモグリバエ科 Odiniidae | 0 | | 0 | 1 |
| 58. ハモグリバエ科 Agromyzidae | 0 | | 0 | 10 |
| 59. クロコバエ科 Millichidae | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 60. キモグリバエ科 Chloropidae | 3 | | 3 | 13 |
| 61. ホソジョウジョウバエ科 Diastatidae | 1 | | 1 | 2 |
| 62. ミギワバエ科 Ephyridae | 2 | | 2 | 56 |
| 63. ショウジョウバエ科 Drosophilidae | 6 | | 6 | 19 |
| 64. トゲハネバエ科 Heleomyzidae | 2 | | 2 | 2 |
| 65. ニセミギワバエ科 Canacidae | 0 | | 0 | 7 |
| 66. イソベバエ科 Tethinidae | 0 | | 0 | 1 |
| 67. ヒゲブトコバエ科 Cryptochetidae | 1 | | 1 | 1 |
| 68. フンコバエ科 Sphaeroceridae | 0 | | 0 | 8 |
| 69. シラミバエ科 Hippoboscidae | 0 | | 0 | 1 |
| 70. フンバエ科 Scathophagidae | 3 | | 3 | 4 |
| 71. ハナバエ科 Anthomyiidae | 2 | | 2 | 6 |
| 72. ヒメイエバエ科 Fanniidae | 0 | | 0 | 4 |
| 73. イエバエ科 Muscidae | 21 | | 21 | 30 |
| 74. クロバエ科 Calliphoridae | 8 | | 8 | 17 |
| 75. ニクバエ科 Sarcophagidae | 3 | | 3 | 24 |
| 76. ワラジムシヤドリバエ科 Rhinophoridae | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 77. ヤドリバエ科 Tachinidae | 42 | | 42 | 85 |
| 合計 | 403 | 45 | 448 | 1027 |

キリウジガガンボ *Tipula (Yamatotipula) aino* Alexander
本種は普通に見られる種であるが、丹沢山塊ではそう多くないようである。この個体は、大野山の山麓で得た。丹沢山塊から初めて記録する。

1♂, 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

マダラガガンボ *Tipula (Nipoptipula) coquilleti* Enderlein ?

中村・脇 (2004) にあるように、マダラガガンボと言われていたものには2種あるという。ここでは疑問符を付して記録する。丹沢山塊からは記録がなかった。

1♂, 山北町大滝沢, 7. VIII. 2005, 鈴木。

ミカドガガンボ *Ctenacrosclis (Ctenacrosclis) mikado* (Westwood)

この個体は、大野山へ登る道路上に轆かれていたもので、その特徴により本種と同定した。

1♂, 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

キイロホソガガンボ *Nephrotoma virgata* (Coquillett)

本種は県内の平地で多く採れているが、丹沢山塊からの記録はなかった。

1ex., 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

シロアシクシヒゲガガンボ *Tanyptera gracilis* (Portschinsky)

秦野市堀山下・西山林道 (中村・脇, 2004)。

ネグロクシヒゲガガンボ *Tanyptera fumibasis* (Alexander)

本種は大型で、腹部の縞模様と前翅の黒紋が鮮やかなガガンボである。神奈川県からは初めて記録される。

1♂ 1♀, 山北町丹沢山頂, 17. VI. 2006, 藤田裕; 1♀, 堂平～丹沢山, 17. VI. 2006, 高桑。

ハラナガクシヒゲガガンボ *Tanyptera jozana* (Matsumura)

山北町世附 (山口, 1967); 1♂, 山北町世附, 15. V. 2006, 芦澤一郎

スネブトクシヒゲガガンボ *Ctenophora (Cnemoncosis) nohirae* Matsumura

清川村煤ヶ谷 (伊東, 2002)。

オオクシヒゲガガンボ *Ctenophora (Phorocentia) vittata* Meigen

神ノ川林道 (鈴木, 2004b)

ベッコガガンボ *Dictenidia pictipennis fasciata* Coquillett

清川村煤ヶ谷 (伊東, 2002)。

ユウレイガガンボ *Dolichozepe (Nesopeza) albitibia* (Alexander)

1ex., 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ヒメユウレイガガンボ *Dolichozepe (Oropeza) satsuma* (Alexander)

本種は暗い杉林の中で、文字通りユウレイのように白く見える前脚をだらしと下げて飛んでいることが多く、わかっていても一瞬構えてしまうことがある。大野山では多く見られた。

1ex., 山北町大滝沢, 6. VI. 2005, 鈴木; 2exs., 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ヒメガガンボ亜科 Limoniinae

Antocha (Antocha) bidigitata Alexander

総目録 (1989) には四国のみが挙げられている。

山北町白石沢 (Torii, 1992)。

Antocha (Antocha) gracillina Alexander

山北町白石沢 (Torii, 1992)。

ウスナミガタガガンボ *Libnotes (Libnotes) nohirai* (Alexander)

清川村県民の森 (中村・脇, 2004)。

ミスジガガンボ *Gymnastes flavitibia* (Alexander)

清川村煤ヶ谷 (伊東, 2002)。

オオキマダラヒメガガンボ *Epiphragma subfascipennis* Alexander

1ex., 山北町用木沢, 6. VI. 2005, 鈴木; 5exs., 檜洞丸, 24. VI. 2004, 宮谷。

宮谷は檜洞丸への登山中に、東沢林道の沢近くの立ち木の幹から採集している。

カスリヒメガガンボ *Limnophila (Limnophila) japonica* Alexander

1ex., 山北町東沢, 6. VI. 2005, 鈴木。

コシボソガガンボ科 Ptychopteridae

神奈川県からは2種が記録されているが、丹沢山塊からは未記録である。

アミカ科 Blephariceridae

神奈川県内の本科についての報文は、守屋 (1994) のみしかない。

厳密には今回の丹沢の範囲から外れるものもあるが、ここでは全て掲載した。

アミカ亜科 Blepharicerinae

ヤマトアミカ *Agathon japonica* (Alexander)

津久井町青根長者舎 (守屋, 1994)。

クロバアミカ *Bibiocephala infuscata infuscata* (Matsumura)

秦野市門戸口・藤能川 (守屋, 1994); 清川村煤ヶ谷・本谷川, 札掛 (守屋, 1994); 津久井町鳥屋・早戸川 (守屋, 1994)。

スカシアミカ *Parablepharocera esakii* (Alexander)

清川村煤ヶ谷・本谷川 (守屋, 1994)。

シラキスカシアミカ *Parablepharocera shirakii* (Alexander)

清川村煤ヶ谷・札掛 (守屋, 1994); 津久井町鳥屋・水沢川 (守屋, 1994)。

アルプスヒメアミカ *Philorus alpinus* Kitakami

清川村煤ヶ谷・札掛 (守屋, 1994)。

オオバヒメアミカ *Philorus kuyaensis* Kitakami

津久井町鳥屋, 青根長者舎 (守屋, 1994); 清川村煤ヶ谷・本谷川 (守屋, 1994)。

ヒメアミカ *Philorus viridis* Kitakami

清川村煤ヶ谷・札掛 (守屋, 1994)。

チョウバエ科 Psychodidae

神奈川県から4種が記録されており、丹沢山塊からその内の2種が記録されているが今回の調査では新発見はなかった。

チョウバエ亜科 Psychodinae

ホシチョウバエ *Tinearia alternata* (Say)

秦野市二の塔 (久保ほか, 1997)。

オオチョウバエ *Sciria albipunctatus* (Williston)

秦野市, 松田町 (森谷ほか, 1969)。

上記2種とも帰化昆虫であるという。

ホソカ科 Dixidae

本科の種は、神奈川県からニッポンホソカとマダラホソカの2種が記録されているが、丹沢山塊からは未記録である。

ケヨソイカ科 Chaoboridae

本科についての神奈川県からの正式記録はない。

カ科 Culicidae

本科については先人の多くの業績があるが、その殆どが衛生害虫としての研究であったため、人里からの報告になっている。神奈川県からは23種が記録されているが、丹沢山塊からの記録は正式には3種しかなかった。この数字は丹沢にカが居ないことではなく標本として残されていなかったことによるため、今後の調査方法により明らかになると思われる。

ハマダラカ亜科 Anophelinae

ヤマトハマダラカ *Anopheles (Anopheles) lindesayi japonicuss* Yamada

清川村札掛 (森久保, 1950)。

Culicinae

アカクシヒゲカ? *Culex (Culicomyia) pallidothorax* Theobald

山北町三保 (森久保・原田, 1952)。

キンパラナガハシカ *Tripteroides (Tripteroides) bambusa bambusa* (Yamada)

山北町三保村 (森久保・原田, 1952)。

ブユ科 Simuliidae

ブユ科については、斉藤一三、金山両氏の一連の調査により神奈川県からは23種が記録されている。丹沢山塊からも以下に記したように13種が記録されている。なお、クジツノマユブユ、ヒメアシマダラブユ、スズキアシマダラブユなどが、近隣の藤野町や津久井町で記録されているが、丹沢山塊からは未記録である。

Prosimuliini

ミヤコオオブユ *Prosimulium (Prosimulium) kiotoense* Shiraki

清川村谷太郎川 (斉藤・金山, 1993)。

キアシオオブユ *Prosimulium (Prosimulium) yezoense* Shiraki

山北町東沢, 浅瀬 (斉藤ほか, 1987); 松田町宇津茂 (斉藤,

1987); 清川村柿ノ木平 (斉藤ほか, 1987); 川弟川, 谷太郎川 (斉藤・金山, 1993) .

Simuliini

コウノホソスネブユ *Simulium (Nevermannia) konoi* (Takahasi)

清川村権現沢 (斉藤・金山, 1993) .

ミエツノマユブユ *Simulium (Nevermannia) mie* Ogata et Sasa

秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987) .

オタルツノマユブユ *Simulium (nnia) subcostatum* (Takahasi)

松田町寄, 大山 (斉藤・金山, 1993); 津久井町寺沢 (斉藤ほか, 1987) .

ウチダツノマユブユ *Simulium (Nevermannia) uchidai* (Takahasi)

秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987); 藤野町川上 (斉藤ほか, 1987); 津久井町寺沢 (斉藤ほか, 1987) .

アオキツメトゲブユ *Simulium (Odagmia) aokii* (Takahasi)

秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987); 大秦野 (斉藤・金山, 1993) .

ツメトゲブユ *Simulium (Odagmia) iwatense* (Shiraki)

秦野市大秦野 (斉藤・金山, 1993) .

キアシツメトゲブユ *Simulium (Gnus) bidentatum* (Shiraki)

山北町用沢 (斉藤ほか, 1987); 秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987) .

アシマダラブユ *Simulium (Simulium) japonicum* Matsumura

山北町檜洞丸, 水ノ木林道, 犬越路, 諸戸, 清川村堂平 (久保ほか, 1997); 山北町東沢上, 浅瀬, 用沢 (斉藤ほか, 1987); 丹沢: 秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987); 水無川, 大秦野, 松田町宇津茂 (斉藤ほか, 1987); 中津川, 寄, 杉の沢, 寄沢 (斉藤・金山, 1993) .

カウムラアシマダラブユ *Simulium (Simulium) kawamurae* Matsumura

山北町浅瀬 (斉藤ほか, 1987); 西沢, 箒沢, 西沢出合, 笹子沢 (斉藤・金山, 1993); 松田町宇津茂 (斉藤ほか, 1987); 杉ノ沢 (斉藤・金山, 1993) .

アカクラアシマダラブユ *Simulium (Simulium) rufibasis* Brunett

大山 (斉藤, 1993)

オオアシマダラブユ *Simulium (Simulium) nikkoense* Shiraki

秦野市角ヶ谷戸 (斉藤ほか, 1987; 斉藤・金山, 1993) .

ヌカカ科 Ceratopogonidae

神奈川県からは種名が明らかなのが3種, 丹沢山塊からは別種である *Palpomyia* 亜科に属する *Palpomyia* sp. や *Atrichopogon* sp. など4種が寄沢や檜洞丸から記録されているが種名の確定には至っていない (久保ほか, 1997) .

ユスリカ科 Chironomidae

丹沢山塊のユスリカの記録は, 石綿ら (2005) の調査報告が唯一のものである. この調査は, 2002年11月~2003年1月の冬季と, 2003年4月~6月春季の2回にわたって幼虫により, おこなわれたものである. 冬季調査では4亜科34taxa (分類群), 春季調査では4亜科31taxa が報告されている. 日本では現在, 8亜科2000種ほどが記録されている (private database, 小林). 本調査では, モンユスリカ亜科 *Tanyptodinae* が2taxa, ヤマユスリカ亜科 *Diamesina* 4taxa, エリユスリカ亜科 *Orthoclaadiinae* 20taxa, ユスリカ亜科 *Chironominae* のユスリカ族 *Chironomini* が8taxa, ヒゲユスリカ族 *Tanytarsini* 5taxa の合計4亜科39taxa である. 冬季は34taxa, 春季は31taxa となる. 冬季, 春季を通じてみられた tax a は, ケブカエリユスリカ属 *Brillia*, ツヤユスリカ属 *Cricotopus*, テンマクエリユスリカ属 *Eukiefferiella*, エリユスリカ属 *Orthocladus*, ニセゲバネエリユスリカ属 *Parametriocnemus*, ハモンユスリカ属 *Polypedilum*, ナガエリユスリカ属 *Rheotanytarsus* など26 tax a である.

丹沢エリアは, 山地溪流が多いので, 平地流に多いセスジユスリカ *Chironomus yoshimatsui* やクツツヤエリユスリカ属 *Paratrichocladus* (*rufiventris* であろう) がほとんどみられないのが特徴的である. 冬季の方が種数, 個体数ともに多い傾向が見られるが, これは, 春季に羽化する個体が多く, 幼虫が減少乃至は幼令化するために調査もれをおこしやすくなるためであろう.

ユスリカの場合, ごく一部の種を除き, 幼虫での種同定は, 非常に困難あるいは不可能である (小林 2001). せいぜい属止まりの

同定にせざるをえない. 属でさえも困難なことが少なくない. そのため, たとえばトクナガエリユスリカ属 *Tokunagaia* は, 一般にあまり多くない属であるに関わらず, この報告のように多くの幼虫が記録されているのは, 他種との混同の可能性を否定できない. また, ヤマトヒメユスリカ族 *Pentaneurini* gen. spp. のように族 (Tribe) レベルの記録では, 多くの属や種が含まれるので, 記録の質の低下は避けがたい.

丹沢エリアのような自然豊富な地域では, 通常, 都市や都市近郊の数倍~数十倍の種が生息する. また, ツヤユスリカ属 *Cricotopus*, ハモンユスリカ属 *Polypedilum* なども非常に多くの種が知られており, 成虫による精緻な調査を行えば, 150種~200種の記録は容易であり, より高質な環境解析も可能になるはずである. 成虫による調査は, 現地でのネットやライトトラップなどによる採集のほか, 底質を採取して, 室内でかんたん到底質内の幼虫を飼育, 羽化させることができるので, 今後, 成虫による調査がおこなわれることを望みたい.

クチキカ科 Axymyiidae

本科では *Protaxymyia* sp. が山北町西沢と大瀬ノ頭から得られている (久保ほか, 1997) が, 種名の確定には至っていない.

ハルカ科 Cramptonomyiidae

日本から1属1種が知られている. ハマダラハルカは年1化, 春に現れ活発に雑木林を飛翔し, よく見かけられるが記録としては以下だけである.

ハマダラハルカ *Haruka elegans* Okada

秦野市堀山下・西山林道 (脇, 2004a; 中村・脇, 2004) .

ケバエ科 Bibionidae

ケバエ科の多くは春先に現れる. 丹沢山塊から記録された6種が現在までの神奈川県記録である. 今後の調査によりさらに増えると思われる.

ウスイロアシフトケバエ *Bibio flavihalter* Hardy et Takahashi

秦野市三ノ塔 (久保ほか, 1997) .

クロアシボソケバエ *Bibio holomaurus* Hardy and Takahashi

山北町谷峨 (Sutou, 2002) .

メスアカケバエ *Bibio rufiventris* (Duda)

山北町地蔵平 (久保ほか, 1997) .

メスアカアシボソケバエ *Bibio simulans* Hardy et Takahashi

山北町大又沢, 犬越路, 檜洞丸, 清川村堂平 (久保ほか, 1997) .

ハグロケバエ *Bibio tenebrosus* Coquillett

山北町谷峨 (Sutou, 2002) .

クロトゲバエ *Dilophus aquilonia* Hardy et Takahashi

山北町檜洞丸, 加入道山 (久保ほか, 1997) .

Pleciidae

神奈川県から4種, その内丹沢から2種のほか種名不詳種が1種の記録があるのみ.

ヒメセアカケバエ *Penthetria japonicum* Wiedemann

山北町三国峠, 松田町寄沢, 秦野市四十八瀬川, 菩提・菜の花台, 戸沢 (久保ほか, 1997) .

クロトゲナシケバエ *Plecia adiatola* Hardy et Takahashi

秦野市三の塔 (久保ほか, 1997) .

ニセケバエ科 Scatopsidae

神奈川県からはナガサキニセケバエ1種のみが記録されているが, 丹沢からは未記録である.

その後, 脇 (2005) による地道な探索により13種以上が生息していることが判明したが, 種名の確定には至っていない.

タマバエ科 Cecidomyiidae

神奈川県における本科の調査研究は依然手付かずの状態である.

ナミキノコバエ科 Mycetophilidae

ナミキノコバエ科は日本から150種以上が知られるというが, 神奈川県からは種名不詳種を加えても2種しか記録されていなかった.

今回 1 種を加えることが出来た。

Mycetophilinae

クロヒラモモキノコバエ *Epicrypta aterrima* (Zetterstedt)

山北町大又沢 (久保ほか, 1997) .

ナガマドキノコバエ *Neoempheria ferruginea* (Brunetti)

1 ♀, 山北町地蔵平, 8. V. 2005, 高桑 .

本個体は, 図鑑類の記載により本種と同定したが, 別種の可能性もある。

クロバネキノコバエ科 Sciaridae

本科については鈴木他 (2004) で神奈川県から 1 種のみを記録したが, 須島 (2006) により既知種の整理がなされ, 4 属 10 種が記録された。丹沢山塊からは 1 種が明らかになり 2 種となった。

Sciara kitakamiensis Sutou

秦野市県民の森 (須島, 2006) .

セアカキノコバエ *Sciara thoracica* Matsumura

山北町檜洞丸, 秦野市菩提・菜の花台 (久保ほか, 1997) ; ヤビツ峠 (須島, 2006) .

短角垂目 BRACHYCERA

Rachiceridae

次の種は現在日本から知られるただ 1 種で大変珍しいものである。

Rachicerus galloisi Seguy

秦野市富士見橋~諸戸 (久保ほか, 1997) .

クサアブ科 Coenomyliidae

神奈川県からは次の種ともう 1 種が記録されているのみである。

イワタシギアブ *Dialysis iwatai* Nagatomi

清川村堂平 (久保ほか, 1997) .

キアブモドキ科 Xylomiidae

キアブモドキ科は, 日本には *Xylomya* 属 8 種と *Solva* 属 4 種を産する。神奈川県からは 4 種が記録されており, 丹沢山塊からは 3 種が記録されていた。今回の調査では 3 種を新たに記録することが出来た。丹沢から確認できた種は, *Solva* 属 2 種と *Xylomya* 属 4 種の計 6 種となった。

アルマンキアブモドキ *Solva harmandi* Seguy

鈴木他 (2004) ではモモトシギアブモドキとしていたが, 上記のように改めた。

山北町檜洞丸 (久保ほか, 1997) .

フトヒゲナガキアブモドキ *Solva procera* (Frey)

山北町大又沢, 秦野市四十八瀬川・堀西 (久保ほか, 1997) .

アカキアブモドキ *Xylomya galloisi* (Seguy)

本種の神奈川県での記録は, 箱根・駒ヶ岳だけであったが, 今回丹沢からも初めて記録できた。

1 ♂, 秦野市四十八瀬川・二俣, 21. VI. 2005) ; 1 ♀, 山北町堂平~大礼ノ頭, 17. VII. 2005, 高桑 .

マツムラキアブモドキ *Xylomya matsumurai* (Nagatomi and Tanaka)

この記録が神奈川県初記録となる。

1 ♀, 檜洞丸山頂~金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷 .

ミツボシキアブモドキ *Xylomya moiwana* Matsumura

この記録が神奈川県初記録となる。

1 ♀, 山北町三国峠, 25. VI. 2005, 長瀬博彦 .

トラキアブモドキ *Xylomya shikokuana* (Miyatake)

秦野市水無川 (久保ほか, 1997) .

ミズアブ科 Stratiomyidae

ミズアブ科には小型の種も多く今後追加記録が見込まれるが, 神奈川県では不詳種も含め 29 種が記録され, その内丹沢からは 13 種が記録されているだけであった。今回の調査により 4 種が新たに記録された。

Beridinae

キアシホソリミズアブ *Actina diadema* Lindner

秦野市ヤビツ峠, 二の塔 (久保ほか, 1997) .

エゾホソリミズアブ *Actina jezoensis* (Matsumura)

県内各地から記録されているが丹沢からは下記 3 例のみである。

秦野市ヤビツ峠・大山 (久保ほか, 1997) ; 大山山頂 (脇,

2004b) .

Allognosta flavifemorialis Pleske

山北町用木沢, 水木ノ林道 (久保ほか, 1997) .

Sarginae

ハラキンミズアブ *Microchrysa flaviventris* (Wiedemann)

県内各地から比較的多く記録されているが, 丹沢からは下記のみである。

秦野市大倉 (久保ほか, 1997) ; 渋沢 (脇, 2004a) .

キイロコウカアブ *Ptecticus aurifer* (Walker)

清川村札掛, 秦野市戸沢, 大倉, 四十八瀬川・堀西 (久保ほか, 1997) ; 堀山下・西山林道 (脇, 2004a) ; 大山山頂 (脇, 2004b) ; 1 ♂, 檜洞丸・ゴウラ沢出合, 6. VII. 2005, 宮谷 ; 1 ♂, 堂平~丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑 ; 1 ♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木 ; 1 ♀, 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊 .

コウカアブ *Ptecticus tenebrifer* (Walker)

秦野市大倉 (久保ほか, 1997) ; 1 ♂, 秦野市蓑毛, 17. VI. 2006, 鈴木 .

ルリミズアブ *Sargus nipponensis* Bigot

山北町用木沢, 秦野市戸沢 (久保ほか, 1997) ; 秦野市堀山下西山林道 (脇, 2004a) .

キアシルリミズアブ *Sargus metallinus* Fabricius

本種は余り多くないようで, 神奈川県では藤野町佐野川の記録 (脇, 2004a) があるのみである。

1 ex., 山北町西沢, 7. VIII. 2005, 鈴木 .

Clitellariinae

Oxycera kusigemati Nagatomi

久保 (2000) では *Oxycera* sp. としたもので, Nagatomi 他 (2001) により本種として記録された。

山北町白石沢林道 (鈴木ほか, 2004) .

Prosopochrysininae

ハキナガミズアブ *Rhaphiocerina hakiensis* (Matsumura)

本個体は標本の状態が悪く, 久保他 (1997) では見落とされたものでここに記録する。それほど少ないものではないが丹沢山塊からは初めてとなる。

1 ex., 津久井町早戸川, 19. VIII. 1993, 荻部 .

Stratiomyinae

ミズアブ *Stratiomys japonica* (Vander Wulp)

本種については, 図鑑類には普通に見られるような記述があるが, 最近是非常に少なくなった。丹沢山塊からは現在まで下の記録のみである。

秦野市千村 (脇, 2004a) .

Hermetiinae

アメリカミズアブ *Hermetia illucens* (Linnaeus)

本種は太平洋戦後まもなく日本に入った帰化昆虫であり, 現在では県内各地に多い。

秦野市堀山下・西山林道 (脇, 2004a) .

Pachygasterinae

ネグロミズアブ *Craspedometopon frontale* Kertész

山北町用木沢, 秦野市菩提・菜の花台, ヤビツ峠, 三ノ塔 (久保ほか, 1997) .

クロツヤミズアブ *Evaza japonica* Lindner

大変珍しい種で, 全国的にもあまり記録のない種である。

山北町世附・三国峠 (脇, 2004a) .

Wallacea albiseta albiseta de Meijere

本種は少ない種で, 現在まで下の記録と横浜市円海山と相模湖町寸沢嵐から記録されているのみである。

山北町用木沢 (鈴木ほか, 2004) .

シギアブ科 Rhagionidae

神奈川県から 6 種, その内丹沢からは 4 種が知られていたが, 今回種名未確定のもの 1 種を加え 2 種を記録する。

Arthroceras rubrifrons Nagatomi

山北町世附峠, 大又沢, 畔ヶ丸山, 秦野市ヤビツ峠, 県民の森, 清川村塩沢 (久保ほか, 1997) ; 秦野市堀山下・西山林道・大山 (脇, 2004a) .

ネウスシギアブ *Chrysopilus sauteri* Bezzi

本種に近縁のキアシキンシギアブが藤野町佐野川から記録されて

いる(脇, 2004a)が, 丹沢からは得られていない。

秦野市三ノ塔, 水無川(久保ほか, 1997)。

キイロシギアブ *Rhagio flavivemedius* (Coquillett)

秦野市大倉尾根, 水無川, 清川村堂平(久保ほか, 1997); 秦野市南ヶ丘(脇, 2004a); 1♀, 山北町檜洞丸・ゴーラ 20. VI. 2004, 宮谷; 1ex., 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

ヨツモンキイロシギアブ *Rhagio naganensis* Nagatomi

本種はキイロシギアブに酷似するが, 腹部に黒紋があることにより本種と同定した。神奈川県から初めての記録である。

2exs., 山北町犬越路～大室山～白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木。

クロシギアブ *Rhagio morulus* Nagatomi

余り多くない種で藤野町佐野川でも採れている(脇, 2004a)。

山北町世附峠(久保ほか, 1997)。

Rhagio sp. 1

本種はクロシギアブによく似るが, 翅の色が異なるので sp. とした。なお, 前回の丹沢・大山調査でも *Rhagio* sp. を 4 種記録した(久保ほか, 2004)が, 下記の個体がどれにあたるかは不明である。

1ex., 山北町檜洞丸・ゴーラ 20. VI. 2004, 宮谷。

ナガレアブ科 Athericidae

幼虫が流水中にすむためそのような環境で採集されると思われる。神奈川県から 5 種が記録され, その内 2 種が丹沢から記録されていたが 1 種追加する。

ミヤマナガレアブ *Atherix basilica* Nagatomi

秦野市水無川(久保ほか, 1997); 清川村煤が谷・本谷川(守屋, 1994)。

ハマダラナガレアブ *Atherix ibis japonica* Nagatomi

秦野市門戸口・藤能川(守屋, 1994); 清川村煤が谷・札掛, 本谷川(守屋, 1994); 塩沢(久保ほか, 1997)。

コモナナガレアブ *Atrichops morimotoi* (Nagatomi)

久保他(1997)において *Atrichops* sp. としたものは本種と思われる。1♂, 山北町檜洞丸・ゴーラ沢出合, 20. VI. 2004, 宮谷; 1♀, 檜洞丸山頂, 26. VI. 2005, 宮谷。

アブ科 Tabanidae

神奈川県のアブ科は種名不確定種を含め 16 種が記録されていた。今回の調査では神奈川県から初めて記録される 2 種を含めて 10 種が丹沢山塊から記録できた。

マルガタアブ亜科 Pangoniinae

マルガタアブ *Stonemyia yezoensis* (Shiraki)

1997 年の丹沢調査では, 種名未確定であったが, 今回新たな標本によってマルガタアブであることが確認できた。

山北町檜洞丸(久保ほか, 1997); 1♂, 丹沢山, 18. VII. 2005, 松本和馬; 1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 1～2. VIII. 2005, 高桑。

ハネモンアブ(キンメアブ) 亜科 Chrysopsinae

クロハネモンアブ(クロキンメアブ) *Chrysops japonicus* Wiedermann

山北町用木沢(久保ほか, 1997)。

アブ亜科 Tabaninae

アオコアブ *Hirosia humilis* (Coquillett)

本個体は胸部が破壊されているが, 触角の形状と腹背白色帯の特徴から本種と同定した。神奈川県初記録となる。

1♀, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木。

イヨシロオビアブ *Hirosia iyoensis* (Shiraki)

清川村札掛(久保ほか, 1997)。

キンイロアブ *Hirosia sapporoensis* (Shiraki)

山北町伊勢林道, 熊木沢, 白石沢, 清川村札掛, 松田町寄沢(久保ほか, 1997); 1♀, 展望園地～檜洞丸山頂, 6. VIII. 2005, 宮谷。

ヒゲナガサシアブ *Isshikia japonica* (Bibot)

山北町大室山, 丹沢山, 水ノ木林道, 檜洞丸, 清川村堂平, 塩水林道, 秦野市水無川(久保ほか, 1997); 大山山頂(脇, 2004b); 1♀, 大室山～犬越路, 23. VII. 1994, 高桑; 2♀, 犬越路～大室山, 20. VII. 1997, 鈴木; 3♀, 檜洞丸山頂, 10-11. VII. 2004, 宮谷; 1♀ 1♂, 堂平～西峰～丹沢山, 16. VII. 2005, 高桑; 1♀, 堂平～丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子; 1♀, 鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

アカウシアブ *Tabanus chrysurus* Loew

山北町西沢, 丹沢山, 蛭が岳, 棚沢ノ頭, 檜洞丸, 清川村塩水林道, 堂平(久保ほか, 1997); 大山山頂(脇, 2004b); 3♀, 大室山～犬越路, 23. VII. 1994, 高桑; 1♂, 大室山～白石峠, 23. VII. 1994, 高桑; 1♀, 大室山～白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♀, 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷; 1♀, 塔ノ岳～丹沢山, 17. VII. 2005, 中村進一; 2♀, 堂平～西峰～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 7. VIII. 2005, 中村進一; 1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 7. VIII. 2005, 高桑。

ヒメキスジアブ *Tabanus fulvilineus* Hayakawa et Takahashi

山北町浅瀬(久保ほか, 1997)。

ヤマトアブ *Tabanus rufidens* (Bigot)

山北町西沢, 切通峠, 加入道山, 犬越路(久保ほか, 1997); 世附三国峠(脇, 2004a); 清川村塩水林道, 浅間山(久保ほか, 1997); 大山山頂(脇, 2004b); 3♀, 西丹沢自然教室, 6. VIII. 2005, 宮谷。

コガシラアブ科 Philopotidae

神奈川県からは次の 2 種が知られるのみである。

Philopotinae

セダカコガシラアブ *Oligoneura nigroaenca* (Motschulsky)

宮谷は, 檜洞丸山頂から東沢林道にかけて採集したものである。山北町水の木沢, 明神峠, 檜洞丸, 畦ヶ丸, 西沢, 松田町寄沢, 秦野市市民の森(久保ほか, 1997); 3♂ 2♀, 檜洞丸, 25-26. VI. 2005, 宮谷; 1♀, 三国峠, 2. VII. 2004, 長瀬博彦; 1♂, 清川村堂平, 17. VI. 2006, 河合秀樹; 3exs., 早戸川, 28. V. 1995, 岡部洋一。

Acrocerinae

シバカワコガシラアブ *Nipponocytus shibakawae* (Matsumura)

ユーシンの個体は小型で脚が白く別種の可能性もある。

山北町用木沢, 世附(久保ほか, 1997); 大山山頂(脇, 2004b); 1♂, 清川村札掛, 4. V. 2005, 松本和馬; 2exs., 白石沢, 4. V. 2005, 宮谷; 1ex., 玄倉・ユーシン, 8. V. 2005 (小林敏男)。

ツリアブ科 Bombyliidae

種名の確定したツリアブは, 神奈川県から 8 種, 内 6 種が丹沢から記録されていたが, 今回 1 種を加えることが出来た。

Bombyliinae

Bombyliini

ピロウドツリアブ *Bombylius major* Linnaeus

山北町畔ヶ丸, 西沢, 世附, 三国峠(久保ほか, 1997); 山北(脇, 2003f); 秦野市大倉, 大倉尾根, 本谷林道, 菜の花台, 四十八瀬川・堀西(久保ほか, 1997); 堀山下・西山林道(脇, 2004a); 大山山頂(脇, 2004b); 1♂, 清川村堂平, 23. V. 1996, 斎藤禎一; 1♂ 1♀, 檜洞丸, 24. IV. 2005, 宮谷; 1♀, 清川村大洞, 19. V. 1995, 岡部洋一。

Anthracinae

Anthracini

ホシツリアブ *Anthrax distigma* Wiedemann

山北町用木沢(鈴木ほか, 2004)。

近縁のヤマシロツリアブやコウヤツリアブが, 藤野町で記録されている(脇, 2004a)が丹沢山塊からはいまだ得られていない。

Exoprosopini

クロバネツリアブ *Ligyra tantarus* (Fabricius)

個体数はそう多くないが, 県内各地の平地からは記録されていた。丹沢山塊からの記録はなかった。

1♂ 1♀, 山北町大野山, 17. VI. 1999, 鈴木。

Villini

スキバツリアブ *Villa limbata* (Coquillett)

山北町熊木沢, 世附, 秦野市三ノ塔, ヤビツ峠, 松田町寄沢(久保ほか, 1997); 堀山下・西山林道(脇, 2004a); 1ex., 世附川, 3. IX. 2005, 松原豊。

Systropodini

ニトベハラボソツリアブ *Systropus (Systropus) nitobe* Matsumura

山北町三国峠, 明神峠, 犬越路, 地蔵平, 用木沢, 秦野市ヤビツ峠(久保ほか, 1997); 三国峠, 秦野市西山林道(脇, 2004a); 戸川林道(鈴木ほか, 2004); 清川村煤ヶ谷(伊東, 2002)。

キムネハラボソツリアブ *Systropus (Systropus) luridus* Zaitzev

本種は丹沢のほか厚木市七沢や藤野町、箱根・仙石原などから記録されている(脇, 2004a, 2004b)が、余り多い種ではない。山北町用木沢、清川村塩水林道(久保ほか, 1997)。
スズキハラボソツリアブ *Systropus (Systropus) suzukii* Matsumura
本種は大変珍しい種で、関東地方では埼玉県、栃木県などで少数の記録があるのみである。
山北町明神山(鈴木ほか, 2004)。

ムシヒキアブ科 Asilidae

日本には70種以上のムシヒキアブが知られており、神奈川県から37種が記録されている。今回の調査で丹沢山塊からは神奈川県初記録種1種と、丹沢からの新記録種4種が記録され、種名が判明したものは26種となった。しかし、同定できていない標本がかなり残っており、これらは種名が分かり次第報告したい。

シオヤアブ亜科 Apocleinae

シオヤアブ *Promachus yesonicus* Bigot

本種は神奈川県ほぼ全域から記録されていたが、丹沢山塊からは記録がなかった。下の記録が丹沢からの初記録となる。
1♀, 山北町大野山, 17. VI. 1999, 鈴木; 1♂1♀, 玄倉川, 19. VII. 2004, 松原豊。

ムシヒキアブ亜科 Asilinae

ウスグロムシヒキ *Eutolmus rufibarbis* (Meigen)

鈴木他(2004)では久保他(1997)の見落としがあり、すべての分布地が欠落していた。訂正するとともに関係者の方々にお詫びする。

山北町檜洞丸、丹沢山、清川村札掛、塩水林道、秦野市水無川、ヤビツ峠、三ノ塔(久保ほか, 1997); 三国峠、清川村煤ヶ谷、大山山頂(脇, 2004a); 2♂, 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷; 1♂1♀, 檜洞丸山頂, 6. VIII. 2005, 宮谷; 1♀, 丹沢山, 17. VII. 2005, 松本和馬; 1♂, 堂平~西峰~丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 2♂, 世附川, 3. IX. 2005, 松原豊。

ナミマガリケムシヒキ *Neoitamus angusticornis* (Loew)

山北町世附、菰釣山、地蔵平、西沢出合、用木沢、大室山、水の木沢、大又沢、犬越路、東沢、ヤビツ峠、清川村札掛(久保ほか, 1997); 秦野市北矢谷(伊東, 2002); 堀山下・西山林道、山北町世附・三国峠、丹沢寺山、大山山頂(脇, 2004a); 1♀, 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷; 1♂, 檜洞丸, 25. VI. 2005, 宮谷; 1♂1♀, 犬越路~大室山, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♀, 大室山~白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♀, 玄倉川, 4. VII. 2004, 松本和馬; 1♀, 東沢林道, 25. VI. 2005, 宮谷; 1♂, 西丹沢自然教室~ゴウラ沢, 20. VI. 2006, 宮谷; 1♀, 大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木; 1♂, 三国峠, 25. V. 2004, 長瀬博彦; 1♂, 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木; 1♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木; 1♀, 秦野市水無川, 9. VII. 1993, 鈴木; 1♀, 鍋割山~小丸, 21. VI. 2005, 高桑。

クリバネマガリケムシヒキ *Neoitamus castaneipennis* Tagawa

本種については鈴木他(2004)において久保他(1997)の見落としがあり、既知産地が欠落していた。ここに訂正するとともに関係者の方々にお詫びする。

山北町明神山~切通峠、大棚沢、世附峠(久保ほか, 1997); 早戸川林道(脇, 2004a); 1♂, 山北町大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木。
モモグロマガリケムシヒキ *Neoitamus cothurnatus univittatus* (Loew)
丹沢山塊からは脇(2004a)により *Neoitamus* sp. として記録されていたが、今回上記学名のもとに記録する。

大山山頂(脇, 2004a); 1♂, 檜洞丸, 20. VII. 2005, 宮谷; 1♂, 白石峠~ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♂1♀, 堂平~西峰~丹沢山, 24-25. VI. 2006, 高桑; 1♀, 大野山, 2. VI. 2006, 鈴木。

Neoitamus sp.

本種は、翅の前基室が無毛であること、小顎肢の毛に白色毛が混じること、顔面隆起と触角の間の距離が触角第1節の2倍であること等から、モモアカマガリケムシヒキ種群と判断されるが、本種の腿節の色は前腿節先端が赤褐色であることを除き他は黒色で、赤褐色部分がより多いモモアカマガリケムシヒキ種群とはやや異なる部分がある。

1♀, 山北町檜洞丸, 6. VIII. 1994, 菊部; 1♀, 白石峠~ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♂, 玄倉, 22. VI. 2006, 鈴木; 1♂, 堂平~西峰~丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 2♀, 鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

シロズヒメムシヒキ *Philonicus albiceps* (Meigen)

山北町地蔵平、用木沢、熊木沢、ヤビツ峠、秦野市水無川(久保ほか, 1997); 秦野市堀山下・西山林道(脇, 2004a)。

ヒサマツムシヒキ *Tolmerus hisamatsui* Tagawa

山北町白石沢、玄倉、西沢、清川村札掛、大山(久保, 1997); 煤ヶ谷(伊東, 2002); 大山(脇, 2004a; 2004b)。

サキグロムシヒキ *Tricomachimus scutellaris* Coquillett

山北町水ノ木沢、西沢、犬越路、秦野市ヤビツ峠、大倉尾根(久保ほか, 1997); 三国峠(脇, 2004a); 秦野市堀山下・西山林道(脇, 2004a); 清川村宮ヶ瀬(伊東, 2002); 2♂, ゴウラ沢出合, 10. VII. 2004, 宮谷; 1♂, 白石峠~ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木。

アシナガムシヒキ亜科 Dasygogoninae

アシナガムシヒキ *Molobratia japonica* (Bigot)

山北町水無川(久保ほか, 1997)。

サツポロアシナガムシヒキ *Molobratia sapporoensis* (Matsumura)

山北町西沢出合(久保ほか, 1997); 世附, 三国峠(脇, 2004a); 1♂, 鍋割山~小丸, 21. VI. 2005, 高桑。

ハラボソムシヒキ亜科 Dioctrinae

ハラボソムシヒキ *Dioctria (Dioctria) nakanensis* Matsumura

山北町三国峠、秦野市三ノ塔、水無川、清川村堂平(久保ほか, 1997); 1♀, 大室山~犬越路, 23. VII. 1994, 高桑; 1♀, 大室山~白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♀, 三国峠, 2. VIII. 2004, 長瀬博彦。

イシアブ亜科 Laphriinae

オタネガワヒラクチイシアブ *Andrenosoma otanegawana* (Matsumura)

清川村堂平(久保ほか, 1997)。

イッシキイシアブ *Choerades ishikii* (Matsumura)

清川村堂平(久保ほか, 1997)。

ヒメキンイシアブ *Choerades japonicus* (Matsumura)

山北町地蔵平、ユースン、松田町寄沢(久保ほか, 1997); 秦野市堀山下・西山林道(脇, 2004a); 清川村堂平、札掛(久保ほか, 1997); 煤ヶ谷(伊東, 2002)。

コムライイシアブ *Choerades komurae* (Matsumura)

山北町大棚ノ頭、檜洞丸(久保ほか, 1997); 世附(脇, 2004a); 秦野市水無川(久保ほか, 1997); 丹沢寺山(脇, 2004a); 清川村札掛(久保ほか, 1997); 三国峠(鈴木ほか, 2004); 1♀, 檜洞丸山頂, 25. VI. 2005, 宮谷; 1♂, 檜洞丸山頂, 6. VIII. 2005, 宮谷; 1♂1♀, 檜洞丸山頂~金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷; 3♂, 白石沢~ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♂1♀, 東沢林道, 25. VI. 2005, 宮谷; 1♂, 東沢林道, 20. VI. 2006, 宮谷; 1♀, 堂平~西峰~丹沢山, 1-2. VIII. 2005, 高桑; 1♀, 堂平~西峰~丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1♀, 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木; 1♀, 丹沢山~塔ノ岳, 17. VII. 2005, 松本和馬; 1♀, 明神山, 25. VI. 2005, 長瀬博彦; 1♀, 一の沢峠, 26. V. 1996, 岡部洋一; 1♂, 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木; 大山(脇, 2004a; 2004b)。

クロスジイシアブ *Choerades nigrovittata* (Matsumura)

山北町水の木沢、用木沢、西沢(久保ほか, 1997); 清川村煤ヶ谷(伊東, 2002); 1♀, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ヤマトイシアブ *Choerades yamatonis* (Matsumura)

神奈川県初記録種。胸背に白毛による紋を持つ美しい種で、かなり得難い種のようなのである。

なお、久保浩一氏からの私信では *Choerades* 属の2種を丹沢山塊より得られているが、筆者らがここでこれらを論ずることは差し控え、詳しくは久保氏の報文を待ちたい。

1♂, 堂平~西峰~丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 高桑。

オオイシアブ *Laphria mitsukurii* Coquillett

山北町水の木沢、丹沢山、早戸川(久保ほか, 1997); 1♂, 山北町丹沢山~蛭ヶ岳, 18. VII. 1998, 菊部; 1♀, 堂平~大礼ノ頭, 17. VII. 2005, 高桑; 1♂, 堂平~西峰~丹沢山, 1-2. VIII. 2005, 高桑; 1♂, 堂平~西峰~丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1♀, 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木; 1♂, 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊; 1♂, 養毛, 17. VI. 2006, 鈴木。

チャイロオオイシアブ *Laphria rufa* von Roder

山北町丹沢山、檜洞丸、蛭ヶ岳、清川村堂平(久保ほか, 1997); 1♀, 大室山~犬越路, 23. VII. 1994, 高桑; 1♂1♀, 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷; 1♀, 丹沢山~蛭ヶ岳, 25. VI. 2005, 松

本和馬; 2♂, 堂平～西峰～丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑; 1♂, 堂平～西峰～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1♂, 堂平, 3. IX. 2005, 藤田裕.

アカアシツマグロイシアブ *Laphriinae* sp.

本種については脇 (2004b) において上記和名を付して記録されているが、現在まで所属不明である。

大山山頂, 厚木市七沢 (脇, 2004b).

マツムラオナガイシアブ *Mactea matsumurai* Hradsky et Geller-Grimm

丹沢山塊から初めての記録である。神奈川県では藤野町佐野川の記録 (脇, 2004a) が唯一のものであった。

1♂, 檜洞丸山頂, 7. VIII. 2005, 宮谷.

フサシゲムシヒキ亜科 Ommatiinae

アオメアブ *Cophinopoda chinensis* (Fabricius)

本種は平地のムシヒキアブなのだろうか、県内各地に分布するが丹沢からは現在まで大山での記録しかなかった。

大山 (脇, 2004b); 1ex., 山北町大野山, 17. VI. 1999, 鈴木.

ヒゲナガムシヒキ亜科 Stenopogoninae

カワムラヒゲナガムシヒキ *Ceraturgus kawamurae* Matsumura

山北町上大倉, 清川村札掛 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b); 煤ヶ谷 (伊東, 2002); 1♂, 檜洞丸～金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷; 1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑; 1♂, 堂平～西峰～丹沢山, 24-25. VI. 2006, 高桑; 1♀, 神ノ川林道～犬越路, 16. VI. 1996, 岡部洋一.

アイノヒゲボソムシヒキ *Grypocotus aino* Speiser

山北町西沢, 秦野市葛葉川 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b); 1♂ 3♀, 檜洞丸山頂, 7. XI. 2004, 宮谷; 1♀, 檜洞丸～展望園地, 6. XI. 2004, 宮谷.

ハタケヤマヒゲボソムシヒキ *Grypocotus hatakeyamae* (Matsumura)

山北町西沢, 秦野市葛葉川 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b); 1♂, 檜洞丸山頂, 7. XI. 2004, 宮谷.

ツマグロヒゲボソムシヒキ *Grypocotus pictipennis* Coquillett

本種は大山山頂で採集されている (脇, 2004b).

山北町ヤビツ峠 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b).

ヒメクロムシヒキ *Holopogon japonicus* Nagatomi

山北町大倉尾根・花立 (久保ほか, 1997); 1♀, 山北町東沢林道, 20. VI. 2006, 宮谷.

オドリバエ科 Empididae

多数の種類が生息していると言われるオドリバエ類は依然として同定困難で、今回調査で5種を新たに加えることができたが前途多難である。因みに種名確定したものは丹沢からは12種となり、神奈川県産としては21種となった。

オドリバエ亜科 Empidinae

ニュースオドリバエ *Empis (Euempis) flavobasalis* Matsumura

1♀, 山北町三国峠, 25. V. 2004, 長瀬博彦; 1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 17. VI. 2006, 高桑.

Empis (Euempis) stigmatica honshuensis Frey

山北町菰釣山, 高指山, 水の木沢, 世附峠 (久保ほか, 1997).

Hilara (Hilara) melanogyne Frey

山北町大又沢 (久保ほか, 1997).

このほか *Empis* 属や *Hilara* 属, *Hybos* 属, *Syneches* 属など20種余が得られているが、いずれも種名確定には至っていない。

オオホソオドリバエ *Rhamphomyia (Calorhamphomyia) formidabilis* Frey

山北町菰釣沢 (久保ほか, 1997).

イトウホソオドリバエ *Rhamphomyia (Calorhamphomyia) itoi* Frey

宮谷は白石沢にあるキャンプ場で採集している。

4♂, 山北町白石沢, 4. V. 2005, 宮谷.

Rhamphomyia (Pararhamphomyia) deformicauda Saigusa

山北町犬越路 (久保ほか, 1997).

Hybotinae

モモトセダカオドリバエ *Hybos japonicus* Frey

山北町西沢, 秦野市菩提 (久保ほか, 1997).

アカメセダカオドリバエ *Syneches japonicus* Frey

山北町西沢, 東沢, 加入道山, 大棚の頭, 高指山 (久保ほか,

1997).

Ocydromiinae

Leptopeza flaviantennalis Kato

ここでも西沢の記録を見落としていた。お詫びして訂正する。

山北町西丹沢 (Kato, 1971); 西沢 (久保ほか, 1997).

アシナガバエ科 Dolichopodidae

神奈川県では久保 (2000) により横浜市円海山より種名不詳種を加えて多くの種が記録されている他、丹沢からも日本産昆虫総目録に収録されていない、*Chrysotus*, *Raphium* 各属や *Hercostomus* 属など5種の種名未確定種があるが、その内の2種を種名不確定種として再度記録する (久保ほか, 1997)。神奈川県での種名確定種の記録は以下の1種にとどまる。

ヒゲナガアシナガバエ亜科 Sciapodinae

Chrysosoma sp.

本種は *Sciapus* 属に似るが、翅脈や雄の交尾器が異なる。

山北町水ノ木林道, 秦野市大倉尾根, 三ノ塔 (久保ほか, 1997).

マダラアシナガバエ *Condylostylus nebulosus* (Matsumura)

本種の属名には従来 *Mesorhaga* が使用されてきたが、玉木氏より上記が正しいとの指摘があり改めた。

山北町水の木沢, 秦野市水無川, 大倉尾根, 松田町寄沢 (久保ほか, 1997).

Raphium sp.

本種は前胸側板の上部前気門の前方に長い淡色毛の束を生じている。なお、本種は *Raphiinae* 亜科に属する。

秦野市三ノ塔 (久保ほか, 1997).

ヤリバエ科 Lonchopteridae

神奈川県から以下の2種を記録する。

ハコネヤリバエ *Lonchoptera hakonensis* Matsumura

山北町加入道山, 大棚の頭, 大室山, 白石沢 (久保ほか, 1997).

クモスケヤリバエ *Lonchoptera stackelbergi* (Czerny)

この記録は本州からの初記録であり、その後も追加記録はないようである。

山北町菰釣山 (久保ほか, 1997).

ヒラタアシバエ科 Platypezidae

久保他 (1997) には日本産昆虫総目録に収録されていない *Agathomia* sp. が檜洞丸から記録されているが、丹沢山塊からは種名確定種はいない。なお、円海山からはヒラタアシバエが記録されている (久保, 2000)。

ノミバエ科 Phoridae

神奈川県からは、丹沢大山調査の結果 (久保ほか, 1997), *Diploneuva* sp., *Spiniphora* sp., *Megaselia* sp., *Woodiphora* sp. や久保 (2000) が横浜市円海山で採集した *Megaselia* sp. などが記録されているが、いずれも種名の確定には至っていない。

アタマアブ科 Pipunculidae

神奈川県からは1種が知られるが、丹沢山塊からは次の1種が記録されているのみである。種名確定が出来ていない *Chalarus* 属や *Pipunculus* 属が丹沢や大山から記録されている (久保ほか, 1997)。

Chalarinae

Eudorylus ocellaris (Matsumura)

秦野市堀山下・西山林道 (鈴木ほか, 2004).

ハナアブ科 Syrphidae

日本産のハナアブは500種を越えるであろうと思われるが、一部の種群では分類的にも確立されていない部分もある。鈴木他 (2004) では神奈川県より126種のハナアブ類を記録し、その内丹沢山塊からも多くの種類を記録することが出来た。今回は同定を含め主として「日本のハナアブ」Ver. 2 (双翅目談話会, 2002) を参考にまとめた。その結果、神奈川県初記録種3種、丹沢山塊から初記録、他に不詳種3種を含み102種が丹沢山塊から記録できた。しかし

ながら、前述したようにこの科の研究も課題は多くあり、今後さらに多数のハナアブ類が新たに記録されると思われる。

ヒラタアブ亜科 Syrphinae

ヒラタアブ族 Syrphini

オオヒメヒラタアブ *Allograpta iavana* (Wiedemann)

本種は丹沢山塊の溪流沿いには比較的多く生息しているが、小型種のため見落とされていた可能性がある。

山北町三国峠 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b); 1 ♂, 山北町東沢, 7. VIII. 2005, 鈴木。

ナガヒラタアブ *Asarkina porcina* (Coquillett)

山北町西沢, 水ノ木沢, 東沢, 三国峠, 秦野市水無川・戸沢, ヤビツ峠, 松田町寄沢 (久保ほか, 1997); 清川村煤ヶ谷 (伊東, 2002)。

クロヒラタアブ *Betasyrphus serarius* (Wiedmann)

山北町犬越路, 畔ヶ丸, 丹沢山, 檜洞丸, 三国峠, 松田町寄沢 (久保ほか, 1997); 秦野市寺山 (脇, 2003d); 菩提・菜の花台, 大倉尾根, 水無川, ヤビツ峠, 葛葉川 (久保ほか, 1997b); 西山林道 (脇, 1999b); 大山山頂 (脇, 2004b); 煤ヶ谷 (伊東, 2002); 2 ♂, 山北町大室山～白石沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1 ♂, 堂平, 16. VII. 2005, 松本和馬; 1 ♂, 堂平～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1 ♂ 1 ♀, 堂平～丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子; 1 ♂ 1 ♀, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木; 1 ♂, 世附, 22. V. 1993, 鈴木; 1 ♂, 秦野市蓑毛, 17. VI. 2006, 鈴木; 2 ♂, 鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

下記のほかに、宮谷は檜洞丸で多くの本種を採集しているがその中の1頭に複眼が異なる個体があった(毛はある)。ここでは本種としたが、別種の可能性もあり以下にデータをあげる。

1 ♂, 檜洞丸・東沢林道, 25. VI. 2005, 宮谷。

フタスジヒラタアブ *Dasysyrphus bilineatus* (Matsumura)

宮谷は檜洞丸で多く採集しているが、春に多い本種が7月に得られていることは興味深い。

山北町西沢 (久保ほか, 1997); 三国峠, 切通峠 (脇, 1999a); 秦野市西山林道 (脇, 1999b); 栲窪 (脇, 2003f); 大山山頂 (脇, 2004b); 1 ♂, 檜洞丸, 11. VII. 2004, 宮谷; 1 ♂ 1 ♀, 檜洞丸, 26. VI. 2005, 宮谷; 1 ♀, 檜洞丸・ゴウラ沢出合, 20. VI. 2006, 宮谷; 2 ♀, 白石峠, 4. V. 2005, 宮谷; 1 ♀, 丹沢山～塔ノ岳, 17. VII. 2005, 松本和馬; 大山 (脇, 1999f)。

ヘリヒラタアブ *Didea alneti* (Fallen)

秦野市西山林道 (脇, 1999b); 大山山頂 (脇, 2004b); 1 ♂, 山北町白石沢～ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 2 ♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木; 1 ♀, 秦野市ヤビツ峠, 18. X. 1997, 加藤学。

マルヒラタアブ *Didea fasciata* Macquart

秦野市西山林道 (脇, 1999b); 煤ヶ谷 (伊東, 2002); 1 ♂, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木。

ツマキオオヒラタアブ *Dideoides coquilletti* (van der Goot)

大野山の記録は、ネットに入れながら逃げられてしまったものである。清川村塩水林道, 山北町大又沢, 秦野市三ノ塔 (久保ほか, 1997b); 西山林道 (脇, 1999); 大山山頂 (脇, 2004b); 煤ヶ谷 (伊東, 2002a); 1 ♂ 目撃, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ヨコジマオオヒラタアブ *Dideoides latus* (Coquillett)

山北町水ノ木沢, 蛭ヶ岳, 丹沢山, 西沢, 犬越路 (久保ほか, 1997b); 秦野市菩提・菜の花台, 四十八瀬川・堀西 (久保ほか, 1997); 西山林道 (脇, 1999b); 寺山 (脇, 2003d); 大山 (脇, 1999b; 脇, 2004b); 煤ヶ谷 (伊東, 2002a); 1 ♀, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木; 1 ♂, 山北町白石沢～ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1 ♂, 大滝沢, 7. VIII. 2005, 鈴木; 1 ♂, 玄倉, 19. VII. 2004, 松原豊; 2 ♂, 丹沢山～塔ノ岳, 17. VII. 2005, 松本和馬; 2 ♂, 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

アイノオビヒラタアブ *Epistrophe (Epistrophe) aino* (Matsumura)

丹沢山塊からの記録としては初めてとなる。

1 ♂, 山北町白石沢～ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木。

ホソオビヒラタアブ *Epistrophe angustifasciata* (Violovitsh)

藤野町牧野からの記録もある (脇, 2003d) が、あまり多くない。大山 (久保ほか, 1997); 山北町三国峠 (脇, 1999a); 秦野市西山林道 (脇, 1999b)。

オオシヨクガバエ *Epistrophe (Epistrophe) grossulariae* (Meigen)

本種は余り多くなく、神奈川県にあつては川崎市生田緑地, 横浜市円海山, 厚木市大沢の3ヶ所から知られるのみ (鈴木ほか, 2004)。なお、近似種のツヤムネオビヒラタアブやササヤマオビヒラタアブが丹沢以外で記録されている。いずれも少なく丹沢山塊からは未記録であるが、久保他 (1997) において *Epistrophe* sp. とした種名未確定種が5種あり、再検討を進めたい。

山北町西沢 (久保ほか, 1997)。

ホソヒラタアブ *Epistrophe (Episyrrhus) balteatus* (deGeer)

本種は丹沢全山に分布している模様で、今回は檜洞丸, 世附, 用木沢などからの標本を確認している。

山北町オリ沢, 水の木林道, 世附, 大瀬沢, 檜洞丸, 犬越路, 権現沢林道, 用木沢, 西沢秦野市菜の花台, 大倉, 戸沢, 三ノ塔, ヤビツ峠, 大倉尾根, 大山 (久保ほか, 1997); 山北町中川 (脇, 2003d); 2 ♂, 白石沢, 4. V. 2005, 宮谷。

フタホシヒラタアブ *Eupeodes (Metasyrphus) corollae* (Fabricius)

神奈川県全域で見られるが丹沢山塊での採集例は少ない。

山北町水ノ木沢, 秦野市四十八瀬川・堀西 (久保ほか, 1997); 1 ♀, 山北町西沢, 7. VIII. 2005, 鈴木。

ナミホシヒラタアブ *Metasyrphus (Metasyrphus) frequens* (Matsumura)

山北町世附, 用木沢, 西沢 秦野市大倉, 菩提・菜の花台, 境沢, 水無川 (久保ほか, 1997); 西山林道, 松田町寄・ジダンゴ山 (脇, 1999b); 大山山頂 (脇, 2004b)。

オオオビヒラタアブ *Megasyrphus erraticus* (Linnaeus)

山北町白石沢, 三国峠 (久保ほか, 1997); 三国峠林道 (脇, 1999a); 秦野市西山林道 (脇, 1999b); 大山 (脇, 1999)。

ハラボソムツモンヒラタアブ *Melangyna compositarum* (Verrall)

Melangyna 属は同定が難しい種群である。現在下の記録が神奈川県で唯一の記録である。

秦野市西山林道 (脇, 1999b)。

キオビハラボソヒラタアブ *Fagisyrrhus cinctus* (Fallen)

本種は神奈川県全域から記録されているが、余り多くなく丹沢からは下の3例のみである。

山北町大又沢, 西沢 (久保ほか, 1997); 三国峠 (脇, 1999a); 秦野市西山林道 (脇, 1999b); 大山 (脇, 1999c)。

オビホソヒラタアブ *Meliscaeva cinctella* (Zetterstedt)

山北町大又沢, 犬越路, 三国峠, 丹沢山 (久保ほか, 1997); 三国峠, 切通峠 (脇, 1999a); 大山山頂 (脇, 2004b)。

カオグロオビホソヒラタアブ *Meliscaeva omogensis* (Shiraki et Edashige)

山北町明神峠, 権現沢 (久保ほか, 1997); 三国峠 (脇, 1999a); 松田町寄沢 (久保ほか, 1997); 秦野市ヤビツ峠 (久保ほか, 1997); 西山林道 (脇, 1999b; 脇, 2003d); 大山山頂 (脇, 2004b)。

クチゲロヒラタアブ *Parasyrphus aeneostoma* (Matsumura)

普通に産すると思われるが小型種のためか、神奈川県内の採集例は多くない。

山北町大又沢 (久保ほか, 1997b); 秦野市西山林道 (脇, 1999b)。

コマバムツホソヒラタアブ *Scaeva komabaensis* (Matsumura)

少ない種なのか神奈川県での採集例は多くなく僅か9例しかない。山北町犬越路, 秦野市ヤビツ峠 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b); 大山山頂 (脇, 2004b)。

ホソヒメヒラタアブ *Sphaerophoria macrogaster* (Tompson)

本種は前回の調査時に見落とされてしまったと思われる。次種とともに県内各地に普通に産する種である。

大山山頂 (脇, 2004b); 1 ♀, 山北町檜洞丸, 25. VIII. 1999, 藤田裕; 1 ♂, 用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木; 1 ♂, 大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木; 1 ♀, 世附, 27. V. 1995, 鈴木。

キタヒメヒラタアブ *Sphaerophoria philanthus* (Meigen)

秦野市大倉尾根 (久保ほか, 1997)。

オオフタホシヒラタアブ *Syrphus ribesii* (Linnaeus)

多くはないが丹沢山塊の低地で見られる。

山北町西沢, 秦野市戸沢, 大山 (久保ほか, 1997); 西山林道 (脇, 1999b); 清川村煤ヶ谷 (伊東, 2002) 大山 (久保ほか, 1997); 大山山頂 (脇, 2004b)。

ケヒラタアブ *Syrphus torvus* Osten Sacken

山北町三国峠林道（脇, 1999a）; 秦野市堀山下・西山林道（脇, 1999b）; 寺山（脇, 2003d）; 大山山頂（脇, 2004b）。

キヒロナミホシヒラタアブ *Stryphus vitripennis* Meigen

山北町大棚沢, 境沢峠, 三国峠, 西沢, 畔ヶ丸, 檜洞丸, 用木沢, 権現沢林道（久保ほか, 1997）; 三国峠（脇, 1999a）; 明神山（脇, 2004a）; 秦野市水無川, 花立, 大山（久保ほか, 1997）; 大山山頂（脇, 2004b）; 秦野市寺山, 山北町世附（脇, 2003f）; 2exs., 秦野市戸沢林道, 9. VII. 1993, 鈴木; 1 ♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

キベリヒラタアブ *Xanthogramma sapporense* Matsumura

山北町大又沢, 戸沢, 犬越路 秦野市ヤビツ峠（久保ほか, 1997）; 西山林道（脇, 1999b; 鈴木ほか, 2004）; 松田町寄・ジダンゴ山（脇, 1999b）; 大山（脇, 1999h）。

コシボソハナアブ族 Bacchini

ツマグロコシボソハナアブ *Allobaccha apicalis* (Loew)

山北町世附（脇, 2004a）; 清水峠, 寄沢, 木の又大日, 明神山, 権現沢林道（久保ほか, 1997）; 切通峠（脇, 1999a）; 秦野市水無川, 三ノ塔（久保ほか, 1997）; 西山林道（脇, 1999b）; 1 ♀, 山北町東沢, 7. VIII. 2005, 鈴木。

マダラコシボソハナアブ *Baccha maculate* Walker

山北町大又沢, 大室山, 高指山, 水の木沢, 世附, 早戸川（久保ほか, 1997）; 松田町ジダンゴ山（脇, 1999b）; 秦野市戸沢, 水無川（久保ほか, 1997）; 掘 掘山下・寺山（脇, 2003d）; 清川村堂平（久保ほか, 1997）; 大山山頂（脇, 2004b）; 煤ヶ谷（伊東, 2002）; 1 ♂, 堂平～丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子; 1 ♀, 神ノ川林道, 16. VI. 1996, 岡部洋一。

ヒゲナガハナアブ族 Churystoxini

ミツオビヒゲナガハナアブ *Chrysoloxum nigroscutellum* Shiraki et Edashige

本種は県内では下のほかに, 葉山町（鈴木, 2004a）と箱根・駒ヶ岳（鈴木ほか, 2004）で記録されているが少ない種である。今回, 丹沢山塊の高地から多く記録できた。堂平の2例とも登山中の加賀の汗に飛来したもので難なく採集したという。生態的にも大変珍しいことである。

なお, 鈴木他（2004）では横須賀市松越川としたが, 葉山町三ヶ岡が正しい。訂正してお詫びする。

秦野市菩提・菜の花台（脇, 2004a）; 1 ♀, 丹沢山～蛭ヶ岳, 18. VII. 1998, 荻部; 1 ♂, 丹沢山山頂, 26. VI. 2005, 高桑; 2 ♀, 堂平, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子; 1 ♂, 大礼ノ頭, 25. VI. 2006, 藤田裕。

サッポロヒゲナガハナアブ *Chrystoxum sapporense* Matsumura

山北町三国峠, 明神山（鈴木ほか, 2004）。

ヒゲナガハナアブ *Chrystoxum* sp.

本種は腹部に黄色の斑紋を持ち, 翅がややくもるが鮮やかな印象のあるハナアブである。ただし, 互いによく似るサッポロヒゲナガハナアブ, ヤマトヒゲナガハナアブ, ヒゲナガアブなどがあり, ここでは sp. とした。脇（2004b）は, 大山から記録したが, 限りなくヤマトヒゲナガに近い種であるという。神奈川県からは2例目であるが, 前種である可能性もある。

1 ♂, 山北町三国峠, 1. VI. 2005, 長瀬博彦。

ツヤヒラタアブ族 Meranostomatini

ナミヒラアシヒラタアブ *Platycheirus clypeatus* (Meigen)

山北町大又沢・地藏平（久保ほか, 1997）; 1 ♂, 檜洞丸・ゴウラ沢出合, 24. IV. 2005, 宮谷。

アシフトヒラアシヒラタアブ *Platycheirus pennipes* Ohara

清川村煤ヶ谷（伊東, 2002）。

トゲヒラアシヒラタアブ *Platycheirus scutatus* (Meigen)

山北町用木沢（久保ほか, 1997）; 1 ♂ 1 ♀, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

クロツヤホシヒラタアブ *Platycheirus urakawensis* (Matsumura)

大野山の採集品はやや小さい個体であるが本種と同定した。なお, *Platycheirus* 属のハナアブは本種を除くと大変に似通った種が多く, 今後の調査により神奈川県からもあと数種発見は可能であろう。山北町用木沢, 加入道山, 丹沢山（久保ほか, 1997）; 秦野市大倉, 菜の花台, 駒止, 大山（久保ほか, 1997）; 西山林道（脇, 1999b）; 大山山頂（脇, 2004b）; 煤ヶ谷（伊東, 2002）; 1 ♀, 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木; 1 ♀, 犬越路, 23. VIII. 1993,

鈴木。

ヨツボシヒラタアブ *Xanthandrus comtus* (Harris)

本種は神奈川県ほぼ全域から採れているが, 余り多い種ではない。つややかな柿色をした雄の腹部斑紋が顕著である。ただし, 雌の斑紋は異なる。

山北町用木沢（久保ほか, 1997）; 秦野市西山林道（脇, 1999b）; 大山山頂（脇, 2004b）; 1 ♂, 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷; 1 ♂, 檜洞丸・金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷。

マメヒラタアブ族 Paragini

キアシマメヒラタアブ *Paragus (Pandasyophthalmus) haemorrhous* Meigen

山北町地藏平, 三国峠, 大又沢（久保ほか, 1997）; 三国峠, 切通峠（脇, 1999a）; 松田町ジダンゴ山（脇, 1999b）; 秦野市大倉尾根（久保ほか, 1997）; 1 ♀, 世附, 22. V. 1993, 鈴木; 1 ♀, 秦野市ヤビツ峠, 13. V. 1995, 鈴木; 1 ♂, 蓑毛, 17. VI. 2006, 鈴木。

シママメヒラタアブ *Paragus (Paragus) fasciatus* Coquillett

山北町三国峠林道（脇, 1999a）。

ノヒラマメヒラタアブ *Paragus (Paragus) quadrifasciatus* Meigen

上の両種とも小型な種であるためか採集例は少ない。互いによく似ているので採集時は注意を要する。なお, ニセキアシマメヒラタアブを横須賀市から報告し, 鈴木他（2004）では保留しつつ神奈川県産として記録したが, 神奈川県のリストから削除するのが妥当と考える。

山北町世附, 三国峠（脇, 1999a; 脇, 2003d）。

ナミハナアブ亜科 Eristalinae

コヒラタハナアブ族 Pipizini

クロモンコハナアブ *Pipiza lugubris* (Fabricius)

本種は全国的にも記録の少ない種で, 従来神奈川県では藤野野牧野（脇, 2003d）の記録があるのみであった。

1 ♀, 山北町三国峠, 1. VI. 2005, 長瀬博彦。

ウスモンコヒラタアブ *Pipiza noctiluca* (Linnaeus)

本属はともに少ないようであり, 同定も難しい。

松田町寄沢（久保ほか, 1997）。

クロハナアブ族 Cheilosini

キバネクロハナアブ *Cheilosia basalis* Shiraki

鈴木他（2004）で述べたように *Cheilosia* 属の群種はよく似た種が多く, 同定は困難でありその状況は現在も余り変わっていない。今回調査でも数個体の収集品を検しているが, ここでは保留し後日の検討に待ちたい。

山北町大又沢, 世附, 加入道山, 大棚沢, 高指山（久保ほか, 1997）。

ニッポンクロハナアブ *Cheilosia japonica* (Herve-Bazin)

山北町大又沢, 秦野市水無川, 大倉, 四十八瀬川（久保ほか, 1997）。

モトマリクロハナアブ *Cheilosia motodomariensis* Matsumura

山北町西沢（久保ほか, 1997）。

ニッコウクロハナアブ *Cheilosia nikkoensis* (Shiraki)

山北町西沢（久保ほか, 1997）。

キスネクロハナアブ *Cheilosia ochripes* (Shiraki)

伊勢原市大山（久保ほか, 1997）。

ナミクロハナアブ *Cheilosia fuscipennis* Shiraki

本種は久保他（1997）の報告時には種名の確定に至らず *Cheilosia* sp. として処理したものである。丹沢では少なからず見出されると思われる。

2 ♂, 秦野市ヤビツ峠, 18. IX. 1986, 鈴木。

イダヒゲクロハナアブ *Endoiasimya iudai* Shiraki

本種は少ない種で, 下例のほかには厚木市七沢での記録があるのみである（脇, 2004b）。

山北町三国峠（久保, 2000）; 秦野市西山林道（脇, 1999b）。

スズキフタモンハナアブ *Ferdinandea cuprea* (Scopoli)

本種に大変よく似たニセスズキフタモンハナアブが知られるが, ここでは全て本種と同定した。

山北町畦ヶ丸山, 白石沢, 犬越路, 清川村堂平（久保ほか, 1997）; 大山山頂（脇, 2004b）; 2 ♂, 檜洞丸, 25-26. VI. 2005, 宮谷; 1 ♂, 丹沢山, 17. VII. 2005, 高桑; 1 ♂, 堂平～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1 ♂, 丹沢山～塔ノ岳, 17. VII. 2005, 松本和馬。

ハナダカハナアブ *Rhingia laevigata* Loew

個体数は余り多くない。神奈川県全域で見られるがやや山地性と思われる。

山北町世附、犬越路、松田町寄沢、秦野市水無川、四十八瀬川、大倉尾根・花立、大山（久保ほか、1997）；山北町三国峠（脇、1999a）。

ベッコウハナアブ族 Volucellini

ベッコウハナアブ *Volucella jeddona* Bigot

丹沢山塊では割合多く、特に大又沢ではその後も多く見ている。山北町水ノ木林道、大又沢、西沢、秦野市水無川（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）；2exs., 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ニトベッコウハナアブ *Volucella linearis* Walker

従来堂平の記録が正式には神奈川県で唯一のものであったが、下記のようにほぼ同一地点と思われる場所で複数採集された。高桑は丹沢山山頂にて5時30分から6時までの早朝に採集し、加賀は丹沢山山頂にあるミヤマザクラの葉上に静止していたものを採集したという。

清川村堂平（久保ほか、1997）；1♀、山北町丹沢山, 16. VII. 2005, 高桑；1♀、丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子。

クロベッコウハナアブ *Volucella nigricans* Coquillett

山北町大瀬沢、水沢林道（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）；1ex., 堂平, 22. VII. 1994, 菊部；1ex., 大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木。

シロスジベッコウハナアブ *Volucella pellucens tabanoides* Motschulsky

本種は山地、平地を問わず多く見ることが出来、各種の花を訪れる。採集された標本を検した結果では圧倒的に雄個体が多かった。訪花習性に雌雄における違いがあるのだろうか。

山北町丹沢山、蛭ヶ岳、秦野市大倉尾根・花立、三ノ塔（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）；1♂、檜洞丸, 11. VII. 2004, 宮谷；1♂、檜洞丸, 25. VI. 2005, 宮谷；2♀、檜洞丸, 6. VIII. 2005, 宮谷；2exs., 大室山～犬越路, 23. VII. 1994, 高桑；2exs., 大室山～白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木；2♂、塔ヶ岳, 18. VII. 2005, 松本和馬；1♂、堂平～西峰～丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑；2♂、堂平～西峰～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑；3exs., 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

タマヒラタアブ族 Chrysogasterini

ヨツモンハナアブ *Brachyopa* sp.

本個体は体長8mm弱の小型のハナアブで、腹部に大きな黄色がかかった赤褐色の斑紋を持っている。神奈川県から脇（2004b）により厚木市大沢で得られており、これが2例目となるものである。双翅目談話会（2002）によれば、図示された♂個体は京都市貴船産のもので腹部の斑紋は3節後半、4節は黒色となっており「真のそれ *B. bicolor* とは異なる。真のそれは腹部が全体に赤褐色である」とあり、この個体が *B. bicolor* であると思われる。

1♂、山北町大瀬沢, 8. V. 2005, 高桑。

キイロハナダカチビハナアブ *Sphagina fasciata* Shiraki

神奈川県での本種の記録は下の記録のほか円海山があるのみである。

秦野市西山林道（鈴木ほか、2004）。

コハナダカチビハナアブ *Sphagina nitidifrons* Stackelberg

大瀬沢ではイロハカエデの葉上に静止していたものを採集したという。

山北町西沢（久保ほか、1997）；1♀、山北町大瀬沢, 8. V. 2005, 高桑；1♀、三国峠, 25. V. 2004, 長瀬博彦。

ナガハナダカチビハナアブ *Sphagina elongata* Shiraki

本種も神奈川県では三国峠で得られた7雄の記録のみである。

山北町三国峠（鈴木ほか、2004）。

コシソヒラタチビハナアブ *Sphagina clunipes* (Fallen)

本種も神奈川県では丹沢山で得られた1雌のみの珍しい記録である。なお、本 *Sphagina* 属も分類上難しい種群であり、多くの資料を収集することにより更なる記録が追加されると思われる。

秦野市寺山（鈴木ほか、2004）。

オオシマハナアブ族 Sericomyni

モンキモモトハナアブ *Pseudovolucella decipiens* (Herve-Bazin)

本種は全国的にも多くない種であるが、今回檜洞丸で新たに見出された。

山北町三国峠（久保ほか、1997）；1♀、檜洞丸山頂, 7. VIII. 2005, 宮谷；1♀、檜洞丸・東沢林道, 25. VI. 2005, 宮谷。

オオシマハナアブ *Sericomyia sachalinica* Stackelberg

本種は北方系のハナアブといわれ、近隣では静岡県と茨城県から記録があったが、神奈川県からは未知であった。この記録が神奈川県初記録となる。高桑は堂平の林の中を登山中に採集したという。1♀、堂平～大礼ノ頭, 5. VII. 2005, 高桑；1♂、明神山, 19. V. 2006, 長瀬博彦。

マドヒラタアブ族 Eumerini

マドヒラタアブ *Eumerus japonicus* Matsumura

秦野市塩水峠、清川村札掛、早戸川、松田町寄沢（久保ほか、1997）；秦野市西山林道（脇、1999b）；1♀、堂平～西峰～丹沢山, 17. VI. 2006, 高桑。

ハイジマハナアブ *Eumerus* sp.

秦野市ヤビツ峠（久保ほか、1997）。

スイセンハナアブ *Merodon equestris* (Fabricius)

本種は帰化昆虫で、神奈川県各地での記録は多いが、丹沢山塊では1例のみである。

秦野市大倉尾根（久保ほか、1997）。

ハチモドキハナアブ族 Ceriodini

ハチモドキハナアブ *Monoceromyia pleuralis* (Coquillett)

本種は近畿地方では少ない種ではないという（大石、2003）が、丹沢山塊からは秦野市の2例のみである。高桑（2003）は、クヌギの古木の樹液に来ていたものを採集したという。

秦野市（伊東、1999）；秦野市名古木（高桑、2003）。

ケブカハチモドキハナアブ *Primoceromyia petri* (Herve-Bazin)

大変珍しいハナアブであるが、鎌倉市のような低地でも採れており（鈴木ほか、2004）、分布状況が注目される。

伊勢原市大山（久保ほか、1997）；山北町白石峠（新井・豊田、2001）；2♂、玄倉川流域, 19. III. 2005, 松原豊。

ナミハナアブ族 Eristalini

キゴシハナアブ *Eristalinus (Lathyrrophthalmus) quinquestriatus* (Fabricius)

山北町神ノ川（久保ほか、1997）；1ex., 大室山～色石峠, 20. VII. 1997, 鈴木；1ex., 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ホシメハナアブ *Eristalinus (Lathyrrophthalmus) tarsalis* (Macquart)

秦野市大倉尾根・花立、清川村早戸川（久保ほか、1997）；煤ヶ谷（伊東、2002）。

シマハナアブ *Eristalis (Eoseristalis) cerealis* Fabricius

本種は1997年当時に比べ個体数は減じているように思えるが、三国峠や檜洞丸、大倉から今回も得られている。

山北町明神山、西沢、蛭ヶ岳、白石沢、檜洞丸（久保ほか、1997）；三国峠（脇、1999a）；西山林道（脇、1999b）；秦野市大倉、水無川、四十八瀬川、伊勢原市大山（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）。

キョウコシマハナアブ *Eristalis (Eoseristalis) kyokoe* Kimura

山北町白石沢、犬越路、秦野市戸沢（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）；1♂、檜洞丸・金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷；1♂、堂平～丹沢山, 16. VII. 2005, 松本和馬；1♂、山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ナミハナアブ *Eristalis (Eristalis) tenax* (Linnaeus)

山北町三国峠、檜洞丸、丹沢山、塩水林道、白石沢、犬越路、三ノ塔、札掛、松田町寄沢、秦野市四十八瀬川、ヤビツ峠、大倉、花立（久保ほか、1997）；秦野市寺山（久保ほか、1997；脇、2003d）；山北町世附（脇、2003d）；伊勢原市大山（久保ほか、1997）；大山山頂（脇、2004b）；1ex., 神ノ川林道, 16. VI. 1996, 岡部洋一；1ex., 一ノ沢峠, 26. X. 1995, 斉藤禎一；2♂、檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷；2♂、檜洞丸山頂, 6. VIII. 2005, 宮谷；1ex., 蛭ヶ岳, 18. VII. 1998, 菊部；1♀、堂平～西峰～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑；2♂、丹沢山～塔ノ岳, 17. VII. 2005, 松本和馬；1ex., 堂平, 23. V. 1996, 斉藤禎一；1ex., 東沢, 7. VIII. 2005, 鈴木；1ex., 菰釣山, 6. VIII. 2000, 菊部；1ex., 上大倉, 22. VIII. 1995, 後藤好正；1ex., 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木；1♂、秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

アシトハナアブ *Helophilus (Helophilus) virgatus* Coquillett

山北町大又沢、用木沢、檜洞丸、明神山、権現沢林道（久保ほか、1997）；世附（脇、2003d）；秦野市菩提・菜の花台、大倉尾根・

花立、ヤビツ峠、水無川、三ノ塔、清川村堂平、松田町寄沢、伊勢原市大山（久保ほか、1997）；西山林道（脇、1999b）；寺山（脇、2003d）；2exs., 大室山～白石峠、20. VII. 1997, 鈴木；1ex., 丹沢湖（遠見山）、22. VI. 2006, 鈴木；1♀, 丹沢山～塔ノ岳、17. VII. 2005, 松本和馬；1♂, 秦野市鍋割山、16. VII. 2005, 松原豊。

フタガタハラブトハナアブ *Mallota dimorpha* (Shiraki)

本種は16 - 18mmと大型のハナアブであるが神奈川県からは明神山と南足柄の2例が知られるのみであった。今回の調査で丹沢山塊の主要な頂きにおいて多く得られたことは興味深い。なお、宮谷はミヤマイボタの花に飛来した個体を採集している（7月）。また、加賀は登山中、汗によって来たので難なく採集したという。このような例は初めての報告ではなからうか。

山北町明神山（鈴木ほか、2004）；1♀, 檜洞丸山頂、11. VII. 2004, 宮谷；1♀, 檜洞丸山頂、6. VIII. 2005, 宮谷；1♀, 堂平～西峰～丹沢山、7. VIII. 2005, 高桑；1♂, 堂平～西峰～丹沢山、2-3. VIII. 2006, 高桑；1♀, 堂平、5-6. VIII. 2006, 加賀玲子。

ニセクロオビハラブトハナアブ *Mallota yakushimana* Kassebeer

従来の記録は秦野市での1例のみであったが、下記のように多くの記録が集積された。

秦野市寺山（脇、2003d）；1♂, 檜洞丸山頂、26. VI. 2005, 宮谷；1♂, 檜洞丸・ゴウラ沢出合、20. VI. 2006, 宮谷；1♂, 丹沢山、17. VII. 2005, 松本和馬；1♂, 堂平～大礼ノ頭、5. VII. 2005, 高桑；1♀, 堂平～西峰～丹沢山、1-2. VIII. 2005, 高桑；1♀, 堂平～丹沢山、17. VI. 2006, 藤田裕。

シマアシトハナアブ *Mesembrius flaviceps* (Matsumura)

見落とされていたのか従来丹沢山塊からは記録がなかった。

2♂, 山北町白石沢、17. VIII. 1997, 荻部；1♂, 大野山、22. VI. 2006, 鈴木。

オオハナアブ *Phytomyia zonata* (Fabricius)

山北町檜洞丸、蛭ヶ岳、寄沢、犬越路、明神山（久保ほか、1997）；世附（脇、2003d）；松田町寄沢、秦野市東沢、大倉、ヤビツ峠、伊勢原市大山（久保ほか、1997）；大江山頂（脇、2004b）；1ex., 丹沢山～蛭ヶ岳、18. VII. 1998, 荻部；1♂, 堂平～丹沢山、5-6. VIII. 2006, 加賀玲子；大室山、20. VII. 1997, 鈴木；1ex., 菰釣山、6. VIII. 2000, 荻部；1♂, 大野山、17. VI. 1999, 鈴木；1♀, 大滝沢、7. VIII. 2005, 鈴木。

ルリハナアブ *Pseudoeristalinus viridis* (Coquillett)

神奈川県ではほぼ全域から記録があるが、丹沢山塊からは以下の1例のみで追加記録がない。

秦野市菩提・菜の花台（久保ほか、1997）。

ナガハナアブ族 *Milesiini*

ヨコモンハナアブ *Blera japonica* (Shiraki)

本種はあまり多くない種のように、近隣地域では長野県と埼玉県から知られるのみである。神奈川県からは初記録となる。なお、キョウトハナアブに極めて類似するが、♂の後脛節はまっすぐなことから本種と同定した。

1♂, 山北町玄倉、22. VI. 2006, 鈴木。

オオフタモンハナアブ *Blera shirakii* Barkalov et Mutin

腹部第2節にある1対の鮮やかな黄色紋が非常に印象的なハナアブで、全国的にも大変珍しい種である。神奈川県での追加記録はない。

山北町西沢（久保ほか、1997）。

オオモモトハナアブ *Matsumyia ferdinandi* (Herve-Bazin)

本標本の損傷が激しく、次種カオグロオオモモトハナアブに似ているがここでは本種とした。

山北町蛭ヶ岳（久保ほか、1997b）；大江山頂（脇、2004b）；1♀, 山北町檜洞丸、6. VIII. 1994, 荻部。

カオグロオオモモトハナアブ *Matsumyia nigrofacies* Shiraki

本種は体長20mmと大型のハナアブで、丹沢山塊からは2例目となる記録で、他に箱根・駒ヶ岳での採集例があるのみの珍しい種である。登山中の採集者の汗に飛来したというが、生態的に珍しい記録であろう。

山北町蛭ヶ岳（久保ほか、1997）；1♀, 堂平～丹沢山、5-6. VIII. 2006, 加賀玲子。

シロスジナガハナアブ *Milesia undulata* Vollenhoven

山北町浅瀬（久保ほか、1997）；1♂, 瀬戸沢ノ頭、6. VIII. 2006, 藤田裕；1♂, 堂平～西峰～丹沢山、2-3. VIII. 2006, 高桑。

スズキナガハナアブ *Spilomyia suzukii* Matsumura

丹沢からの記録は従来1例のみであったが、今回調査では下のようによくの採集例があった。

秦野市西山林道（脇、1999b）；1♂, 山北町大滝沢、7. VIII. 2005, 鈴木；1♂, 玄倉・ユージン、4. VIII. 2005, 長瀬博彦；1♀, 堂平、2-3. VIII. 2006, 中村進一；1♂1♀, 大野山、22. VI. 2006, 鈴木。

モモトチビハナアブ *Syricta pipiens* (Linnaeus)

秦野市三ノ塔（久保ほか、1997）；西山林道（脇、1999b）；山北町三国峠（脇、1999a）。

ヒメハチモドキハナアブ *Takaomyia johannis* (Herve-Bazin)

本種は従来、厚木市三峰山（脇、2004b）と宮ヶ瀬（伊東、2002）の2ヶ所から記録された少ない種であるが、今回下例のように多くのデータが集まった。本種は山地性の種と思われていたが加賀（2005）は、湘南の大磯で得ており、同様な環境を探せばさらに多くの分布地が判明するのではなからうか。なお、大野山産の標本は頭部が損傷しているが、胸と腹部の特徴的な色彩により本種と判断した。

2♂, 山北町用木沢、8. VI. 1997, 鈴木；1♂, 檜洞丸・ゴウラ沢出合、20. VI. 2006, 宮谷；1♂, 堂平～西峰～丹沢山、25-26. VI. 2005, 高桑；1ex., 大野山、22. VI. 2006, 鈴木；1♂, 早戸川林道、28. V. 1995, 岡部洋一。

ムツボシモドキハナアブ *Takaomyia sexmaculata* (Matsumura)

このほか大山でも採れている（久保ほか、1997）。本種も山地性の種と思われていたが、加賀（2006）は暖かい低山の大磯・高麗山から記録した。

山北町境沢、世附、大榎ノ頭、檜洞丸、清川村堂平（久保ほか、1997）；1♀, 蛭ヶ岳、18. VII. 2006, 松本和馬；1♀, 堂平～西峰～丹沢山、25-26. VI. 2005, 高桑；1♀, 堂平～西峰～丹沢山、17. VI. 2006, 高桑；1♀, 大榎沢、4. VI. 2006, 新堀豊彦。

ヒメヨコジマナガハナアブ *Temnostoma apiforme* (Fabricius)

本種は全国的にも多くないハナアブで、神奈川県からの追加記録はない。

清川村堂平（久保ほか、1997）。

ススバネナガハナアブ *Temnostoma fumosum* Hull

本種も下記1例があるのみで、神奈川県からの追加記録はない。

山北町水ノ木林道（久保ほか、1997）。

ニトベナガハナアブ *Temnostoma nitobei* (Matsumura)

本種は少ない種で神奈川県でも5例を数えるのみであったが、下記のように丹沢山塊の多くの地点から記録が集まった。

山北町大又沢、菰釣山（久保ほか、1997）；秦野市寺山（脇、2003d）；1♀, 水ノ木林道、27. V. 1993 (秋山秀雄)；3♂1♀, 檜洞丸、25-26. VI. 2005, 宮谷；1♂, 堂平～大礼ノ頭、5. VII. 2005, 高桑；1♂, 堂平～西峰～丹沢山、25-26. VI. 2006, 高桑；1♂, 明神山、1. VI. 2005, 長瀬博彦；1♂, 三国峠、24. VI. 2006, 長瀬博彦；3♂2♀, 大野山、22. VI. 2006, 鈴木；1♀, 早戸川林道、28. V. 1995, 岡部洋一。

ヨコジマナガハナアブ *Temnostoma vespiforme* (Linnaeus)

本種は全国的にも多くないハナアブで、下の記録以降神奈川県からの追加記録はない。

山北町水ノ木沢（久保ほか、1997）。

ハラナガハナアブ族 *Xylotini*

キガオハラナガハナアブ *Brachypalpoides flavifacies* (Shiraki)

本種は全国的にも珍しい種で、ツヤモンハラナガハナアブに似るが翅の色や脚の色により本種と同定した。この記録が神奈川県初記録となる。西峰のブナの大きな倒木の周りから採集している。なお、同時にシロスジベッコウハナアブも同一地点で採集したという。1♂, 堂平～西峰～丹沢山、25-26. VI. 2005, 高桑。

キアシハラナガハナアブ *Brachypalpoides simplex* (Shiraki)

本種は全国的にも少ない種で檜洞丸山頂で採集された。丹沢山塊からは3例目となる記録である。

山北町大又沢、秦野市上大倉（久保ほか、1997）；1♂, 檜洞丸、25. VI. 2005, 宮谷。

スガシバクロハラナガハナアブ *Chalcosyrphus latifrons* (Shiraki)

本種も大変珍しい種で、その後追加記録はない。なお、近縁のヤマトクロハラナガハナアブが、宮ヶ瀬で記録されている（伊東、2002）。この種も少ない種である。

清川村塩水林道 (久保ほか, 1997) .

クロハラナガハナアブモドキ *Chalcosyrphus (Xylotodes) ambiguus* (Shiraki)

本種の県内での既知産地は、厚木市飯山 (脇, 2003d) と日向山 (脇, 2004b) のみであった。この記録が丹沢山塊から初めての記録となる。

1 ♂, 山北町大野山, 22. VI. 2006, 鈴木 .

ハラアカハラナガハナアブ *Chalcosyrphus (Xylotomima) frontalis* (Shiraki et Edashige)

今回の調査では丹沢山塊から多く記録できた。

秦野市ヤビツ峠, 大倉尾根, 上大倉, 清川村札掛 (久保ほか, 1997); 秦野市西山林道 (脇, 1999b); 大江山頂 (脇, 2004b); 1 ♀, 山北町檜洞丸, 11. VII. 2004, 宮谷; 2 ♂, 檜洞丸, 25. VI. 2005, 宮谷; 1 ♀, 檜洞丸山頂, 6. VIII. 2005, 宮谷; 1 ♂, 大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木; 1 ♀, 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊; 1 ♂, 養毛, 17. VI. 2006, 鈴木; 1 ♂, 津久井町黍殻山, 22. V. 2004, 中山和昭 .

クロハラナガハナアブ *Chalcosyrphus (Xylotomima) longus* (Coquillett)

本種はナガハナアブ類では大型でかなり特徴のある種である。関東近辺では、茨城, 埼玉, 静岡などで記録されていたが少ない種で, 下の記録が神奈川県で初記録となると思われる。

1 ♀, 檜洞丸・金山谷乗越, 26. VI. 2005, 宮谷; 1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑; 1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 1-2. VIII. 2005, 高桑; 1 ♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木 .

Chalcosyrphus sp.

本個体は頭部と生殖節がなく断定が出来ないが, 他の部分はクロアシハラナガハナアブに酷似するので敢えてここに記した。

1ex., 山北町西沢, 7. VIII. 2005, 鈴木 .

ナミルリイロハラナガハナアブ *Xylota amamiensis* (Shiraki)

県内各地から記録されている。なお, 近縁のミヤマルリイロハラナガハナアブは隣接する藤野町牧野 (脇, 2003d) や厚木市七沢 (脇, 2004b) で得られているが丹沢山塊からは発見できなかった。

山北町世附, 秦野市大倉, 三ノ塔, 水無川・戸沢 (久保ほか, 1997); 西山林道 (脇, 1999b); 柄窪 (脇, 2003d); 松田町寄・ジダンゴ山 (脇, 1999b); 大江山頂 (脇, 2004b); 1 ♀, 山北町大滝沢, 7. VIII. 2005, 鈴木; 1 ♂, 西沢, 7. VIII. 2005, 鈴木; 1 ♂, 丹沢湖 (遠見山), 22. VI. 2006, 鈴木 .

アリノスアブ亜科 Microdontinae

アリノスアブ族 Microdontini

キンアリノスアブ *Microdon auricomus nigripes* Shiraki

丹沢各地で見られ, その後も世附や大又沢ではよく見かけることができる。

山北町世附峠, 大又沢, 西沢, 境沢林道, 秦野市大倉, 大倉尾根 (久保ほか, 1997); 寺山 (脇, 2003d); 1 ♀, 檜洞丸, 25. VI. 2005, 宮谷; 1 ♀, 堂平～西峰～丹沢山, 24-25. VI. 2006, 高桑 .

フタオビアリノスアブ *Microdon bifasciatus* Matsumura

本種の記録は全国的にも多くなく, 神奈川県から唯一の記録である。山北町三国峠 (鈴木ほか, 2004) .

アリノスアブ *Microdon japonicus* Yano

県内の平地からの記録は比較的多いが, 丹沢山塊からは大山の記録だけであった。今回下記のように3例が記録できた。

大江山頂 (脇, 2004b); 1 ♀, 山北町地蔵平, 8. V. 2005, 高桑; 1 ♂, 三国峠, 25. V. 2004, 長瀬博彦; 1 ♂, 津久井町寺入沢, 22. V. 2000, 苅部 .

トゲアリノスアブ (オオイタアリノスアブ) *Microdon oitanus* Shiraki

少ない種で神奈川県では, ほかに厚木市七沢で得られているのみである (脇, 2004b)。神奈川県で記録されているアリノスアブは, 上のほかにヒメルリイロアリノスアブ, コブアリノスアブ, マドホソアリノスアブがあるが, 丹沢からは未記録である。

松田町シダンゴ山 (脇, 1999b) .

メバエ科 Conopidae

メバエ科はハチに擬態している種が多い。丹沢山塊からは2種の記録しかなかったが, 2種を新たに加えることが出来た (神奈川県初記録)。神奈川県産メバエは8種となる。

Conopinae

Conopini

ジョウザンメバエ *Conops (Asiconops) flavipes* Linnaeus

本種は一見ハチモドキハナアブに似る。神奈川県から初記録となる。2 ♂, 山北町三国峠, 14. IX. 2005, 長瀬博彦 .

Myopinae

ナカホシメバエ *Myopa testacea* (Linnaeus)

清川村堂平 (久保ほか, 1997); 1ex., 山北町白石峠, 4. V. 2005, 宮谷 .

Sicini

マダラメバエ *Myopa buccata* (Linnaeus)

神奈川県では円海山と横須賀市天神島の2例がある。丹沢山塊からの初記録となる。

1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 17. VI. 2006, 高桑 .

チャイロフタオレメバエ *Sicus abdominalis* Krober

採集者は場所を特定できないというが, 同一ルートでほぼ2週間の間に採集されており, 今後の調査により興味深い観察が期待できると思われる。

山北町水ノ木沢 (久保ほか, 1997); 1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 10-11. VI. 2006, 高桑; 1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 17. VI. 2006, 高桑; 1 ♂, 堂平～西峰～丹沢山, 24-25. VI. 2006, 高桑 .

クロフタオレメバエ *Sicus nishitapensis* (Matsumura)

この記録が神奈川県からは初めての記録となると思われる。

1 ♂, 堂平～丹沢山, 5-6. VIII. 2006, 加賀玲子 .

なお, 丹沢からは *Thecophora* 属の1種が記録されているが, 種名の確定には至っていない。

ナガズヤセバエ科 Neriidae

神奈川県からはホシアシナガヤセバエとモンキアシナガヤセバエの2種が記録されているが, 丹沢山塊からは未記録である。

マルズヤセバエ科 Micropezidae

神奈川県からは下記の1種のみである。

マエジロアシナガヤセバエ *Rainieria latifrons* (Loew)

山北町丹沢山, 清川村堂平 (久保ほか, 1997) .

ハネオレバエ科 Psilidae

ハネオレバエ科は神奈川県から近似種も加え5種が記録され, この内3種が丹沢山塊から記録されている。

Chylizinae

ケブカクロハネオレバエ *Chyliza crinita* Iwasa

山北町犬越路, 秦野市水無川 (久保ほか, 1997) .

マエキクロハネオレバエ *Chyliza flavifrons* Iwasa

山北町大室山, 秦野市菜の花台 (久保ほか, 1997) .

ヒトスジチョウカクハネオレバエ *Loxocera fulviventris* (Meigen)

四十八瀬川・堀西 (久保ほか, 1997) .

ハネオレホソバエ科 Strongylophthalmyiidae

本科では神奈川県から円海山と丹沢山塊から夫々1種記録されている。

ヤマトハネオレホソバエ *Stroylophthalmyia japonica* Iwasa

山北町東沢 (久保ほか, 1997); 秦野市寺山 (鈴木ほか, 2004) .

フトモモホソバエ科 Megamerinidae

神奈川県からは次の1種のみ。

クロフトモモホソバエ *Texara compressa* Walker

山北町世附, 東沢 (久保ほか, 1997) .

デガシラバエ科 Pyrgotidae

デガシラバエ科は脚が長く毛が多く, 一見ある種のハチに似ている。神奈川県からは4種が記録されているが, 丹沢山塊からは以下の1種のみである。

ミツモンハチモドキバエ *Paradapsilia trinotata* Chen

山北町三国峠, 秦野市ヤビツ峠 (久保ほか, 1997); 西山林道 (脇, 2003a); 大江山頂 (脇, 2004b); 1 ♀, 早戸川林道, 28. V. 1995, 岡部洋一 .

ミバエ科 Tephritidae

ミバエ科は日本には約 200 種が分布しているといわれるが、神奈川県からは種名不詳種を含んで 55 種を記録した(鈴木ほか, 2004)。この内丹沢山塊からは 22 種が記録されていた。今回の調査で新たに 2 種を加えることが出来た。なお、鈴木他(2004)を作成時において久保他(1997)を参考にしながら本科の転記をしたが、多くの部分で転記ミスがあった。原稿の校閲までして頂いた末吉昌宏氏をはじめ多くの関係者にお詫びし、都度訂正する。

Phyltminae

Acanthonevrin

タテジマハマダラミバエ *Acanthonevra formosana* Enderlein

県内からは厚木市上古沢・順礼峠(市田, 1996)、七沢(脇, 2004b)や藤野町名倉(脇, 2003a)の記録がある。鈴木他(2004)では、既知産地の白石沢が抜けていた。お詫びして訂正する。山北町切通峠(市田, 1995); 東沢林道(市田, 1996); 秦野市大倉(市田, 1995); 白石沢(久保ほか, 1997); 大山(市田, 1995)。

キバラハマダラミバエ *Acanthonevra speciosa* (Hendel)

山北町中川川・大又沢(久保ほか, 1997)。

シラホシハマダラミバエ *Acanthonevra trigona* (Matsumura)

山北町犬越路(脇, 1999c); 秦野市大倉(市田, 1995); 清川村境沢林道(久保ほか, 1997); 1ex., 山北町白石沢, 4. V. 2005, 宮谷; 3exs., 檜洞丸・東沢林道, ゴーラ沢, 24. IV. 2005, 宮谷; 1ex., 秦野市鍋割山, 16. VII. 2005, 松原豊。

ケブカミバエ亜科 Tephritinae

オナガミバエ族 Myopitini

アザミオナガミバエ *Urophora sachalinensis* (Shiraki)

本種の幼虫はアザミの花頭の中で成育し、蛹化するという。今後、各地からこれらを観察することにより記録が集積されると思われる。山北町三国峠(市田, 1995); 1ex., 檜洞丸山頂, 11. VII. 2004, 宮谷。

ケブカミバエ族 Tephritini

ヒラヤマアミメケブカミバエ *Campiglossa hirayamae* (Matsumura)

現在の所、丹沢からは下の 1 例のみであるが、県内各地から記録されているので早晚追加記録がなされると思われる。

山北町切通峠(脇, 1999a)。

メサリケブカミバエ *Campiglossa messalina* (Hering)

山北町三国峠(脇, 1999a); 丹沢山(脇, 1999d)。

アザミケブカミバエ *Tephritis majuscula* Hering et Ito

山北町切通峠(市田, 1995); 三国峠(市田, 1995; 脇, 1999a); 切通峠(脇, 1999a); 犬越路(市田, 1996)。

ツマホシケブカミバエ *Trupanea convergens* Hering

本種は県内各地より記録されている。

山北町三国峠(脇, 1999a); 世附(脇, 2003a)。

ホシミバエ族 Terellini

キイロホシミバエ *Chaetostomella vibrissata* (Coquillett)

山北町三国峠(脇, 1999a; 脇, 2003a)。

Terellia (*Terellia*) *apicalis* (Chen)

山北町世附三国峠(脇, 2003a)。

ハマダラミバエ亜科 Trypetinae

ホソハマダラミバエ族 Adramini

オオトウハマダラミバエ *Euphranta* (*Rhacochlaena*) *japonica* Ito

大山山頂(脇, 2004b)

ミバエ族 Dacini

Ceratitidina

ミツボシハマダラミバエ *Proanoplomus japonicus* Shiraki

山北町中川・東沢林道(市田, 1996); 世附・三国峠(脇, 2004a); 秦野市蓑毛・柏木林道(市田, 1995; 市田, 1996)。

ミバエ亜族 Dacina

ミスジミバエ *Bactrocera* (*Zeugodacus*) *scutellatus* (Hendel)

山北町用木沢, 伊勢原市大山(久保ほか, 1997); 山北(脇, 2003a); 秦野市ヤビツ・柏木林道(市田, 1995)。

タケハマダラミバエ亜族 Gatrozonina

ナツササハマダラミバエ *Acrotaeniostola sexvittata* Hendel

鈴木他(2004)では下の記録が抜けてしまった。訂正してお詫びする。

山北町東沢, 伊勢原市大山(久保ほか, 1997)。

ハルササハマダラミバエ *Paragastrozona japonica* (Miyake)

山北町大室山, 畦ヶ丸, 加入道山, 犬越路, 白石沢, 高指山, 大棚ノ頭(久保ほか, 1997); 山北(脇, 2003a); 秦野市蓑毛(市田, 1996); 堀山下・西山林道(脇, 1999b; 脇, 2003a); 丹沢寺山(脇, 2003a); 大山山頂(脇, 2004b); 1ex., 檜洞丸・東沢林道, 24. IV. 2005, 宮谷; 1ex., 白石峠, 4. V. 2005, 宮谷; 1ex., 大棚沢, 5. V. 2006, 新堀豊彦。

Ortalotrypnetini

イッシキハマダラミバエ *Ortalotrypeta issikii* (Matsumura)

山北町世附・大又沢, 犬越路, 富士見峠(市田, 1996)。

ハマダラミバエ族 Trypetini

ヒゲハマダラミバエ亜族 Chetostomatina

チャイロハススジハマダラミバエ *Anomia vulgaris* (Shiraki)

山北町世附・富士見峠(市田, 1996); 秦野市大倉(市田, 1995; 市田, 1996)。

ハマダラミバエ亜族 Trypetina

イヌビワハマダラミバエ *Acidiella diversa* (Ito)

記録者名を(市田, 1996)としたが、下が正しい。

秦野市四十八瀬川(久保ほか, 1997)。

クサギハマダラミバエ *Acidiostigma polyfasciatum* (Miyake)

既知産地の三国山が抜けてしまった。訂正してお詫びする。

山北町中川・犬越路(市田, 1996); 三国山(久保ほか, 1997); 秦野市堀山下・西山林道(脇, 1999b)。

エスハマダラミバエ *Acidiostigma s-nigrum* (Matsumura)

本種は翅の斑紋に特徴のある種で、丹沢山塊から 2 例目の記録である。

大山・北尾根(脇, 2004b); 2exs., 檜洞丸山頂, 26. VI. 2005, 宮谷。

Angelogelatinus naganoensis (Shiraki)

久保他(1997)ではナガノハマダラミバエの和名を使用した。

山北町檜洞丸(久保ほか, 1997)。

クロミスジハマダラミバエ *Fusciludia aliquantula* Ito

山北町切通峠(脇, 1999a)。

クロホソスジハマダラミバエ *Philophylla fossata* (Fabricius)

秦野市今泉(脇, 2003a)

ヨモンハマダラミバエ *Pseudacidia japonica* (Hendel)

本種は玉木(1997)が、関東地方初記録として記載したもので、恐らく関東地方では 2 例目になると思われる。

1ex., 山北町白石峠, 4. V. 2005, 宮谷。

ヨモギハマダラミバエ *Trypeta artemisiae* (Fabricius)

山北町中川・犬越路(市田, 1996)。

ミスジハマダラミバエ *Trypeta zoe* Meigen

山北町丹沢山(脇, 1999d)

Vidalia accola Hardy

少ないものではない。

秦野市寺山(脇, 2003a); 大山山頂(脇, 2004b)。

上記のほか以下に以下の種が転記漏れであった。筆者にはそれらをどこに所属すべきか不明であるが、そのまま記録し直す。よって神奈川県産のミバエ類は 57 種と訂正してお詫びする。

フキハマダラミバエ *Prionimera japonica* (Shiraki)

秦野市ヤビツ峠~諸戸(久保ほか, 1997)。

フチモンハマダラミバエ *Nemoriludia fusca* Ito

なお、玉木(1997)によれば、東日本では少ない種のようなのである。

秦野市ヤビツ峠(久保ほか, 1997)。

また、鈴木他(2004)にてナカグロツルギミバエを *Rhabdochaeta asteria* Hendel としたが、その後、末吉昌宏氏より *Calloptera asteria* (Hendel) とすべきで所属もツルギミバエ族 Schistopterini であるとのご教示を頂いていたので訂正し、お詫びする。

ヒロクチバエ科 Platystomatidae

ヒロクチバエ科は従来神奈川県から 7 種記録されており、丹沢山塊からはその内 6 種が記録されていた。

オオマダラヒロクチバエ *Euprosopia grahami* Malloch

山北町白石沢, 秦野市諸戸(久保ほか, 1997)。

コマダラヒロクチバエ *Euprosopia semiarmata* Malloch

清川村堂平(久保ほか, 1997)。

Prosthiochaeta flavihirta Hara

山北町水ノ木林道(久保ほか, 1997)。

ダイズコンリュウバエ *Rivellia apicalis* Hendel
山北町三国峠, 世附, 秦野市大倉尾根, 水無川, 大倉 (久保ほか, 1997) .
ミスジヒメヒロクチバエ *Rivellia nigricans* Matsumura
山北町水の木沢, 地蔵平, 秦野市県民の森 (久保ほか, 1997) .
キアシヒメヒロクチバエ *Rivellia flavipes*
松田町寄沢 (久保ほか, 1997) .

ハネフリバエ科 Otitidae

神奈川県からはハネフリバエ 1 種のみ知られ, 丹沢山塊からは未記録である.

ヤチバエ科 Sciomyzidae

ヤチバエ科は湿地や河川に多く, 神奈川県から 6 種が記録されている. 丹沢山塊からは 2 種の記録しかないが, そのような環境を調査することにより新知見が加えられるであろう.

Sciomyzinae Sciomyzini

Dichetophora japonica Sueyoshi
山北町畔ヶ丸 (Sueyoshi, 2001) .

Tetanocerini

ヒゲナガヤチバエ *Sepedon aenescens* Wiedemann
山北町用木沢, 三国峠, 秦野市四十八瀬川 (久保ほか, 1997) .

ベッコウバエ科 Dryomyzidae

ベッコウバエ科は種類数が少なく, 神奈川県では以下の 2 種の記録のみである.

ベッコウバエ *Dryomyza formosa* (Wiedemann)
山北町簪沢, 用木沢, 三国山, 丹沢山, 秦野市葛葉川, 四十八瀬川・堀西, 伊勢原市大山 (久保ほか, 1997); 藁毛 (脇, 2004a); 大山山頂 (脇, 2004b); 清川村堂平 (大場, 1981a; 久保ほか, 1997); 煤ヶ谷 (脇, 2004a); 境沢林道 (久保ほか, 1997); 大山 (久保ほか, 1997; 脇, 2004b) .
ワタナベベッコウバエ *Dryomyza ecalcarata*
山北町明神峠, 犬越路, 早戸川, 東沢, 檜洞丸 (久保ほか, 1997) .

ツヤホソバエ科 Sepsidae

神奈川県から 4 種が記録され, その内の 3 種が丹沢山塊より知られる.

クロツヤホソバエ *Decachaetophora aeneipes* (de Meijere)
秦野市四十八瀬川, 山北町檜洞丸 (久保ほか, 1997) .
ヒトテンツヤホソバエ *Sepsis monostigma* Thomson
山北町大棚の頭, 地蔵平 (久保ほか, 1997) .
オスアカツヤホソバエ *Sepsis thoracica* (Robineau-Desvoidy)
山北町大室山, 秦野市藁毛 (久保ほか, 1997) .

シマバエ科 Lauxaniidae

シマバエ科は神奈川県から種名の確定できた種が 17 種, 他に数種の不明種がありその内丹沢山塊からは 7 種が知られるのみであった.

Homoneurinae

ヒラヤマシマバエ *Homoneura hirayamae* (Matsumura)
秦野市水無川, 四十八瀬川, 戸川, 大倉尾根, 山北町犬越路, 早戸川, 清川村札掛, 神ノ川乗越, 松田町寄沢, 山北町三国峠 (久保ほか, 1997); 2exs., 大室山, 8. IX. 1996, 荻部; 4exs., 犬越路~大室山, 20. VII. 1997, 鈴木 .
Homoneura mayrhoferi Czerny
秦野市堀山下・西山林道 (脇, 2004a); 大山 (久保ほか, 1997) .
Homoneura matsumurai Sasakawa et Ikeuchi
秦野市三ノ塔・戸川 (久保ほか, 1997) .
Homoneura triphylla Sasakawa et Ikeuchi
秦野市藁毛 (久保ほか, 1997) .
Homoneura aulatheca Sasakawa et Ikeuchi
山北町世附・三国峠, 中川・犬越路 (脇, 2004a); 秦野市大倉 (久保ほか, 1997); 堀山下・西山林道 (脇, 2004a) .

Lauxaniinae

Protrigonometopus maculifrons Hendel
秦野市大倉 (久保ほか, 1997) .
Trigonometopus (Trigonometopus) frontalis (Meigen)
山北町世附・三国峠 (脇, 2004a) .

クロツヤバエ, Periscelididae, Asteiidae, チーズバエ科, クチキバエ, トゲアシモグリバエの各科のハエ類は神奈川県内からは 1 種または種名の確定できていない種が記録されているが, いずれも丹沢山塊からの記録はない.

ミバエモドキ科 Pallopteridae Pallopterinae

Palloptera ambusta (Meigen)
日本ではこの 1 種のみが日本産昆虫総目録 (1989) に収録されているだけで, その分布も単に日本となっているだけの少ない種である. 本種も筆者のミスにより鈴木他 (2004) への転記をしなかった. 訂正しお詫びする. なお, 総目録には和名による科名はないが, 玉木 (1997) に従い上記とした.
秦野市葛葉川 (久保ほか, 1997) .

Anthomyzidae

本科は総目録 (1989) にも収録されていない科で, 丹沢山塊から次の 1 種が記録されている. なお, 本科も鈴木他 (2004) への転記漏れをしてしまった. ここにお詫びし訂正する.

Anthomyza sp.
山北町加入道山 (久保ほか, 1997) .

ハモグリバエ科 Agromyzidae

種々の植物を食害することで知られ日本には 170 種以上が分布すると言われるが, 神奈川県からは 5 種を記録したのみであった (鈴木ほか, 2004). 植物防疫に携わる方々の調査により, その関係の生息や種名も明らかになりつつある (阿久津, 2005). 丹沢山塊からは *Nelanagromyza* や *Phytomyza* 属の種が各 1 例づつ記録されているが, 種名の確定には至っていない.

クロコバエ科 Milichidae

神奈川県から種名不詳の 1 種を加え 3 種が記録される, 丹沢山塊からは *Phyllomyza* 属の種が 1 種, 秦野市三ノ塔で採集記録されているのみである.

キモグリバエ科 Chloropidae

キモグリバエ科は日本から約 200 種が知られるというが, 神奈川県からは僅か 13 種を記録するのみで, その内丹沢山塊からの種名確定種は次の 3 種のみである.

ナガミヤクキモグリバエ亜科 Oscinellinae

ホソヒゲフトキモグリバエ *Elachiptera japonica* Nishijima
山北町高指山 (久保ほか, 1997) .

キモグリバエ亜科 Chloropininae

ニセムギキモグリバエ *Meromyza grandifemoralis* Kanmiya
山北町高指山, 秦野市菩提 (久保ほか, 1997) .
ササノアシフトキモグリバエ *Platycephala sasae* Nartshuk
山北町大室山, 大棚ノ頭 (久保ほか, 1997) .

ホソショウジョウバエ科 Diastatidae

神奈川県から 2 種記録され, その内の 1 種が丹沢山塊での記録である.

Diastata ussurica Duda
山北町犬越路 (久保ほか, 1997) .

ミギワバエ科 Ephydriidae

ミギワバエは水際蠅である. 脇・大石 (2004) により神奈川県産として 56 種が記録された.
その論文から丹沢山塊の記録として以下の 2 種を挙げる. 他に *Psilopa* 属など 5 属が, 種名不詳で各 1 種採集されている.

Ochtherinae

Nostima verisifrons Miyagi
清川村煤ヶ谷 (脇・大石, 2004) .

Psilephydra fulvialis (Miyagi)
清川村煤ヶ谷 (脇・大石, 2004) .

ショウジョウバエ科 Drosophilidae

ショウジョウバエ科は日本から約 260 種が記録されているというが、筆者らでは難しく新知見を加えることは出来なかった。神奈川県から 19 種が記録され、その内 5 種が丹沢山塊から記録されていた。今回カザリコガネショウジョウバエを丹沢産として加える。

カプトショウジョウバエ亜科 Steganiinae

コガネショウジョウバエ族

モンコガネショウジョウバエ *Leucophenga (Leucophenga) maculata*
(Dufour)

清川村堂平 (久保ほか, 1997) .

カザリコガネショウジョウバエ *Leucophenga (Leucophenga) ornata*
Wheeler

大山 (Okada, 1968a) .

ショウジョウバエ亜科 Drosophilinae

オウトウショウジョウバエ *Drosophila (Sophophora) suzukii*
(Matsumura)

秦野市三ノ塔, 大倉 (久保ほか, 1997) .

ムナスジショウジョウバエ *Drosophila (Sophophora) rufa* Kikkawa
et Peng

秦野市蓑毛 (Okada, 1973) .

コフキヒメショウジョウバエ *Scaptomyza (Parascaptomyza) pallida*
(Zetterstedt)

山北町用木沢, 加入道山, 清川村堂平 (久保ほか, 1997) .

カンザシヒメショウジョウバエ *Scaptomyza (Scaptomyza) clavata*
Okada

Okada (1973) により副模式標本として挙げられている。

秦野市蓑毛 (Okada, 1973) .

トゲハネバエ科 Heleomyzidae

丹沢山塊での 2 種の記録だけである。他に *Suillia* 属の 1 種が記録されているが、種名は未確定である。

ミヤマイトゲハネバエ *Suillia brunneipennis* Czerny

山北町白ヶ岳, 三国峠 (久保ほか, 1997) .

チャバネトゲハネバエ *Tephrochlamys japonica* Okadome

用木沢, 水ノ木林道 (久保ほか, 1997) .

ニセミギワバエ科 Canacidae

本科については、脇・鈴木 (2004) で神奈川県から 7 種を記録したが、丹沢山塊からは未記録である。

ヒゲトコバエ科 Cryptochetidae

神奈川県からは次の 1 種のみ記録されている。

クロメマトイ *Cryptochetum (Lestrophonus) nipponense* (Tokunaga)

山北町檜洞丸, 東沢, 畦ヶ丸, 秦野市大倉 (久保ほか, 1997) .

フンコバエ科 Sphaeroceridae

神奈川県からは鈴木他 (2004) で 8 種を記録した。丹沢山塊からは *Copromyza* 属の 1 種が記録されるが種名の確定には至っていない。

フンバエ科 Scathophagidae

フンバエ科は日本では 11 種が記録され、神奈川県からは 4 種が記録されている。その内の 3 種が丹沢山塊より得られている。

Scathophaginae

アメイロオオフンバエ *Norellisoma agrion* Seguy

檜洞丸では雄が立ち枯上のキノコに来ていたのを採集している。

山北町犬越路 (久保ほか, 1997) ; 1 ♂, 檜洞丸, 2. X. 2004, 宮谷 ; 1 ♀, 檜洞丸, 7. XI. 2004, 宮谷 .

キアシフンバエ *Scathophaga mellipes* (Coquillett)

秦野市大倉, 蓑毛, ヤビツ峠, 清川村堂平, 山北町大又沢, 三国峠, 丹沢山, 白石沢, 伊勢原市大山 (久保ほか, 1997) ; lex., 檜洞丸~東沢, 11. X. 1993, 高桑 ; 大山 (久保ほか, 1997) .

ヒメフンバエ *Scathophaga stercoraria* (Linnaeus)

秦野市大倉 (久保ほか, 1997) ; 2exs., 犬越路~大室山, 20. VII.

1997, 鈴木 ; lex., 檜洞丸~東沢, 11. X. 1993, 高桑 ; lex., 用木沢, 30. VIII. 1993, 久保 ; lex., 白石峠~ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木 .

ハナバエ科 Anthomyiidae

ハナバエ科は日本から 200 種以上が記録されているが、神奈川県からは僅か 6 種を記録したに過ぎない。丹沢山塊からはその内の 2 種のみである。

Anthomyia trifurea Sueyoshi et Rochacck

本種は多くの採集例とともに新種として記録されたものである。

山北町 (Sueyoshi・Rohacek, 2003) .

タネバエ *Delia platura* (Meigen)

秦野 (伊藤ほか, 1997) .

ヒメイエバエ科 Fanniidae

ヒメイエバエ科は約 50 種が日本から知られるが、神奈川県から僅か 4 種が記録されるが丹沢山塊からは未記録である。

イエバエ科 Muscidae

現在までイエバエ科としては神奈川県から 19 種が記録でき、丹沢山塊からは 6 種が記録されていた。今回の調査ではイエバエ, クロバエ, ニクバエなどの標本の数は余り多くなかった。幸い前回の丹沢・大山調査時での標本類が多数残され、その当時玉木氏により科毎に分類されていた。これらを主に Shinonaga (2003) によって同定を試みた。これには日本産 253 種が記載されており大変参考になったが、十分読み解くことが出来ず、100 以上もの標本数は種名を確定できなかった。それでも丹沢山塊から 14 種を新たに追加することが出来た。今後の課題として残した標本と格闘し、新知見を明らかにしていきたい。

イエバエ亜科 Muscinae

オオイバエ族 Reinwardtiini

モモグロオオイバエ *Muscina angustrifrons* (Loew)

1 ♂, 山北町犬越路, 7. IX. 1994, 宮谷 ; 1 ♀, 三国峠, 15. IX. 1993, 久保 ; 1 ♂, 三国峠, 11. VI. 1994, 久保 ; 1 ♀, 地蔵平, 23. IX. 1995, 渡弘 ; 1 ♀, 世附~水の木沢, 2. VI. 1993, 久保 ; 1 ♂, 戸沢林道, 24. IX. 1994, 鈴木 ; 1 ♂, 清川村堂平, 9. VIII. 1994, 久保

クロオオイバエ *Muscina japonica* Shinonaga ?

1 ♂, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木 .

オオセアカクロバエ *Muscina pascuorum* (Meigen)

1 ♂, 山北町蛭ヶ岳, 29. VII. 1995, 久保 ; 1 ♀, 三国峠, 16. V. 1994, 鈴木 ; 1 ♀, 三国峠, 26. VII. 1995, 久保 ; 1 ♀, 白石沢, 30. VIII. 1993, 久保 ; 3exs., 秦野市四十八瀬川, 鈴木 .

イエバエ族 Muscini

キバネクロバエ *Mesembrina resplendens* Wahlberg

1 ♀, 山北町檜洞丸, 29. VII. 1995, 宮谷 ; 1 ♀, 三国山, 19. IX. 1993, 宮谷 .

オオクロイエバエ *Polietes nigrolimbatus* Bonsdorff

1 ♂, 山北町犬越路, 9. IX. 1995, 久保 ; 1 ♂, 用木沢, 30. VIII. 1993, 渡弘 ; 1 ♂, 三国峠, 26. IX. 1994, 久保 ; 1 ♀, 秦野市ヤビツ峠, 12. V. 1995, 鈴木 ; 1 ♀, ヤビツ峠~諸戸, 5. IX. 1993, 田尾美野留

トゲアシバエ亜科 Phaoniinae

ヤドリバエ族 Egiiniini

キヨロヤドリバエ *Syngamoptera flavipes* (Coquillett)

1 ♂, 秦野市菩提, 5. VI. 1993, 浜口哲一

ヤマトヤドリバエ *Syngamoptera japonica* Shinonaga

1 ♂, 山北町三国峠, 16. V. 1994, 鈴木 .

ハナゲバエ族 Dichaetomyiini

ヤマトハナゲバエ *Dichaetomyia japonica* Hori et Kurahashi

本個体は大変傷んでいるが、その特徴は認められるので本種と同定した。

lex., 秦野市ヤビツ峠~大山, 28. V. 1995, 田尾美野留

トゲアシバエ族 Phaoniini

セスジトゲハナバエ *Phaonia dorsolineata* Shinonaga et Kano

篠永・加納 (1971) は「Fauna Japonica Muscidae」の中で、各種の分布を記している。しかし、本種を含めて 6 種については単に「丹

沢山」と記されており、恐らく丹沢山塊全体を指していると思われるが詳細は不明である。以下同様に収録した。

丹沢山 (篠永・加納, 1971)。

ヤマトゲアシエバエ *Phaonia errans* (Meigen)

Shinonaga (2004) に述べられているようにイエバエ科の和名は過去からかなり混乱していた。このためここでは和名の統一を図るよう試みられているが、この本ですらヤマトゲアシエバエの和名が3種に付けられてしまっている。今後これらの整理はなされると思うが、ここではこの和名を採用した。

1♂, 山北町世附～水の木沢, 27. VII. 1993, 久保; 1♀, 早戸川, 23. X. 1994, 宮谷。

キアシトゲアシエバエ *Phaonia mystica* (Meigen)

1♂, 山北町畦ヶ丸, 17. VI. 1995, 宮谷; 1♂, 東沢林道, 2. VI. 1995 (渡弘); 1♀, 大又沢, 7. VI. 1993, 宮谷。

ヒザクログアシエバエ *Phaonia nigrogeniculata* Shinonaga et Kano

丹沢山 (篠永・加納, 1971); 1♀, 山北町畦ヶ丸, 17. VI. 1995, 宮谷。

サガミトゲハナバエ *Phaonia sagami* Shinonaga et Kano

丹沢山 (篠永・加納, 1971)。

クロトゲアシエバエ *Phaonia serva* (Meigen)

1♂, 清川村境沢, 29. V. 1993, 宮谷。

シリケブカトゲハナバエ *Phaonia seticaudata* Shinonaga et Kano

丹沢山 (篠永・加納, 1971)。

ウスズミトゲハナバエ *Phaonia subnigra* Shinonaga et Kano

丹沢山 (篠永・加納, 1971)。

トゲハナバエ *Phaonia vulgaris* Shinonaga et Kano

パラタイプの一つとして記載されている。

丹沢山 (篠永・加納, 1971)。

マルイエバエ亜科 Mydæinae

シロマキパイエバエ *Myospila argentata* (Walker)

1♀, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木; 1♂ 1♀, 大野山, 17. VI. 1999, 鈴木。

セマダラハナバエ *Graphomya maculata* (Scopoli)

本種の発生期間はかなり長く、三浦半島などでは冬にも見られるが、集められた標本の中にはなく下の古い標本しかなかった。現状は不明である。

1♂ 3♀, 秦野市大倉尾根, 18. VIII. 1968, 鈴木; 1♀, 大倉, 18. VIII. 1968, 鈴木。

ハナレメイエバエ亜科 Coenosiinae

ミズギワイエバエ族 Limnophorini

トウヨウカトリバエ *Lispe orientalis* Wiedemann

1♂, 不動尻キャンプ場, 11. XI. 1995, 久保

クロバエ科 Calliphoridae

クロバエ科については、過去の記録を収集して17種を神奈川県から記録したが、丹沢山塊からの記録は未記録となっていた。

Calliphorinae

スネアカキンバエ *Lucilia (Lucilia) porphyryna* (Walker)

1♀, 堂平～西峰～丹沢山, 25-26. VI. 2005, 高桑。

ヒツジキンバエ *Lucilia (Phaenicia) cuprina* Wiedemann

2♀, 山北町世附川流域, 3. IX. 2005, 松原豊; 1♀, 大野山, 22. VI. 2006, 鈴木。

ヒロズキンバエ *Lucilia (Phaenicia) sericata* Meigen

1♂, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木。

コガネキンバエ *Lucilia ampullacea* Villeneuve

1♀, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木。

キンバエ *Lucilia caesar* Linnaeus

1♂ 1♀, 秦野市四十八瀬川, 8. V. 1994, 鈴木。

ミドリキンバエ *Lucilia illustris* Meigen

1♀, 秦野市菩提・菜ノ花台, 5. V. 1994, 鈴木。

Rhiniinae

ミドリバエ *Isomyia senomera* (Seguy)

1♀, 山北町檜洞丸・ゴーラ沢, 10. VII. 2004, 宮谷; 1♀, 堂平～丹沢山, 2-3. VIII. 2006, 高桑; 1♂, 大又沢, 10. VI. 1999, 鈴木;

1♀, 世附川流域, 3. IX. 2005, 松原豊。

ツマグロキンバエ *Stomorphina obsoleta* (Wiedemann)

1ex., 大山, 12. VI. 1993, 塚原一秀; 4exs., 大山, 8. X. 1994, 鈴木; 1ex., 秦野市大倉, 27. V. 1994, 宮谷; 1ex., 山北町西沢, 17. VI. 1995, 宮谷; 2exs., 寄沢, 5. IX. 1993, 宮谷

ニクバエ科 Sarcophagidae

ニクバエ科についても過去の記録を収集して24種を神奈川県から記録したが、丹沢山塊からの記録は未記録となっていた。今回の収集品は大変少なく1997年時に収集し未同定だった多くの標本を再調査したが、本科の同定は難しく、故・加納二郎先生に同定して頂いた標本と文献を見比べながら行ったがここで記録できたのは以下の3種にとどまった。今後の課題である。なお、学名については古田・村上 (2006) に従った。

Sarcophaginae

センチニクバエ *Sarcophaga (Boettcherisca) peregrina* (Robineau-Desvoidy)

本種と思われる標本はこのほかにもあるが、ここでは下記に留める。1♀, 山北町蛭ヶ岳, 29. VII. 1995, 久保; 1♀, 用木沢, 26. X. 1993, 久保; 1♂, 用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木; 1♂, 西沢, 17. VI. 1995, 宮谷; 1♂, 三国山, 26. VII. 1995, 久保; 1♀, 秦野市三ノ塔, 25. VI. 1995 (塚原一秀); 1♀, 大倉尾根, 7. VII. 1993, 鈴木。クロニクバエ *Sarcophaga (Boettcherisca) septentrionalis* Rohdendorf 1♂, 山北町用木沢, 8. VI. 1997, 鈴木; 1♂, 白石峠～ヤブ沢, 20. VII. 1997, 鈴木; 1♀, 世附, 21. VIII. 1993, 久保; 1♀, 秦野市糞毛, 17. VI. 2006, 鈴木。

ゲンロクニクバエ *Sarcophaga (Parasarcophaga) albiceps* (Meigen)

本種とセンチニクバエとは大変似ているため同定に多くの誤りがあると思われるが、ここでは下記として処理した。

1♂, 犬越路～用木沢, 9. IX. 1995, 久保; 2♂ 1♀, 西丹沢キャンプ場, 30. VIII. 1993, 久保; 2♂, 世附～水の木沢, 27. VII. 1993, 久保; 1♀, 秦野市三ノ塔, 25. VI. 1995 (塚原一秀); 1♂, 戸川林道, 9. VII. 1993, 鈴木。

ワラジムシヤドリバエ科 Rhinophoridae

Morinia nigerrima (Herting)

Tanzawa (玉木, 1997)。

ヤドリバエ科 Tachinidae

ヤドリバエはその名のとおり多くの他の昆虫たちに寄生するが、この科について嶋皓 (1999) の日本産ヤドリバエ科の寄主と寄生者のカタログが双翅目学会より出版された。これを見ると本科昆虫の広い範囲に亘る寄生の一端をうかがうことが出来る。それらは甲虫目の7科24種、半翅目の5科30種、チョウ目の334種にも及ぶ。神奈川県にあっては久保浩一氏が多くの知見をもたらし、83種もの記録がなされているが丹沢山塊からはその半分の42種にとどまっている。今回調査においてもいくつかの種類が採集されているが、同定は容易でなく新知見を加えることが出来なかった。

ヤドリバエ亜科 Exoristinae

Exoristini

Exorista (Adenia) mimula (Meigen)

山北町水ノ木 (久保ほか, 1997)。

ブランコヤドリバエ *Exorista (Exorista) japonica* (Townsend)

本種は多くの鱗翅類に寄生することが知られるが、Shima (1999) では神奈川県記録として、イチモンジセセリ、オビカレハ、タケカレハ、チャドクガなど多くの蝶蛾が挙げられている。

山北町用木沢 (久保ほか, 1997)。

トカチハリバエ *Parasetigena silvestris* (Robineau-Desvoidy)

山北町畦ヶ丸, 秦野市菩提・菜の花台 (久保ほか, 1997)。

Phorocera obscura (Fallen)

山北町用木沢, 犬越路, 檜洞丸 (久保ほか, 1997)。

Blondeliini

Trigonospila ludio (Zetterstedt)

秦野市大倉尾根, 水無川, 清水峠, 戸川, ヤビツ峠, 山北町明神峠, 早戸川, 西沢, 犬越路 (久保ほか, 1997)。

Eryciini

サンセイハリバエ *Aplomyia confinis* (Fallen)

秦野市ヤビツ峠, 清川村堂平 (久保ほか, 1997)。

Phryxe heraclei (Meigen)

松田町寄沢 (久保ほか, 1997) .
キナコハリバエ *Senometopia excisa* (Fallen)
山北町水ノ木林道, 世附, 秦野市堀山下 (久保ほか, 1997) .

Goniini

カイコノウジバエ *Blepharipa sericariae* (Rondani) ?
本種については, Shima (1999) によれば種名も上記となり, 過去に記録された種 *B. sericariae* は種々混同されている可能性があるとしているが, ここでは下記の個体を本種として記録する.

3exs., 大室山~白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木 .
オオズクロスジハリバエ *Gonia chinensis* Wiedemann
山北町地蔵平, 丹沢山, 秦野市大倉 (久保ほか, 1997) .

カイコノクロウジバエ *Pales pavida* (Meigen)
山北町三国峠, 明神峠, 秦野市大倉 (久保, 1997) .

Sericozenillia albipila (Mesnil)
秦野市葛葉川 (久保ほか, 1997) .

セスジハリバエ亜科 Tachininae
Tachinini

タマヌキハリバエ *Anaeudora japonica* (Baranov)
秦野市大倉, 伊勢原市大山 (久保ほか, 1997) .

セスジハリバエ *Tachina (Eudoromyia) nupta* (Rondani)
山北町三国峠, 用木沢, 秦野市菩提・菜の花台, 大倉尾根, ヤビツ峠, 堀山下 (久保ほか, 1997) .

ヨコジマオオハリバエ *Tachina (Servillia) jakovlevi* (Portshinsky)
山北町菰釣山 (久保ほか, 1997) .

コガネオオハリバエ *Tachina (Servillia) luteola* Coquillett
山北町加入道山 (久保ほか, 1997) ; 1ex., 大室山~犬越路, 23. VII. 1994, 高桑 ; 2exs., 犬越路~大室山~白石峠, 20. VII. 1997, 鈴木 .

Tachina (Servillia) stackelbergi (Zimin)
山北町用木沢, 秦野市大倉尾根 (久保ほか, 1997) .

Nemoraeini

ハネナガハリバエ *Nemoraea japonica* (Baranov)
山北町世附, 上大倉, 水無川 (久保ほか, 1997) .

ササハラハリバエ *Nemoraea pellucida* (Meigen)
山北町檜洞丸, 松田町寄沢 (久保ほか, 1997) .

Linnaemyini

Linnaemya (Ophina) picta (Meigen)
山北町明神峠, 丹沢山, 世附, 用木沢, 白石沢, 秦野市堀山下, 清川村早戸川, 伊勢原市大山 (久保ほか, 1997) .

Emestiini

Ernestia melanopyga (Zimin)
山北町畦ヶ丸, 秦野市大倉 (久保ほか, 1997) .

Fausta inusta Mesnil
秦野市堀山下・四十八瀬川 (久保ほか, 1997) .

Hyalurgus sima (Zimin)
山北町蛭ヶ岳 (久保ほか, 1997) .

Leskiini

トワダナガハリバエ *Atylostoma towadensis* (Matsumura)
秦野市水無川, 塩水林道 (久保ほか, 1997) .

アシナガヤドリバエ亜科 Dexiinae
Dexiini

セスジナガハリバエ *Dexia flavipes* Coquillett
伊勢原市大山 (久保ほか, 1997) .

キバネナガハリバエ *Estheria magna* (Baranov)
山北町犬越路, 秦野市水無川, 清川村早戸川 (久保ほか, 1997) .

クチナガハリバエ *Prosenia siberita* (Fabricius)
この族ではセスジナガハリバエが大山から記録されている
山北町犬越路, 白石沢, 水ノ木林道, 松田町寄沢 (久保ほか, 1997) .

Voriini

キオビヒゲトハリバエ *Athrycia trepida* (Meigen)
山北町水ノ木林道 (久保ほか, 1997) .

Dexiomimops rufipes Baranov
山北町大又沢, 三国峠, 清川村早戸川 (久保ほか, 1997) ; 三国峠 (鈴木ほか, 2004) .

Leptothelaira meridionalis Mesnil et Shima

総目録 (1989) では九州と台湾が分布地として挙げられている.
秦野市大倉尾根 (久保ほか, 1997) .

Phyllomyia takanoi Mesnil
山北町三国峠 (久保ほか, 1997) .

アシナガハリバエ *Thelaira nigripes* (Fabricius)
山北町世附, 秦野市菩提・菜の花台, 水無川 (久保ほか, 1997) .

ヒラタヤドリバエ亜科 Phasiinae
Hermyini

クロヒゲナガハナバエ *Hermya beelzebul* (Wiedemann)
山北町大又沢 (久保ほか, 1997) .

Phasiini

シナヒラタハナバエ *Ectophasia rotundiventris* (Loew)
山北町世附, 秦野市菩提・菜の花台, 水無川 (久保ほか, 1997) .

マルボシハナバエ *Gymnosoma rotundata* (Linnaeus)
山北町三国峠, 塩水林道, 秦野市葛葉川, 戸沢, 水無川 (久保ほか, 1997) .

Phasia (Phasia) aurulans Meigen
従来, 本種の分布地として日本では北海道のみが記録されていたが, 埼玉県より本州で初めての記録がなされた (玉木, 1997) . 下の記録は本州から2例目となると思われる.

山北町三国峠 (鈴木ほか, 2004) .
ダイミョウヒラタハナバエ *Phasia (Phasia) hemiptera* (Fabricius)

秦野市堀山下・西山林道 (鈴木ほか, 2004) .
Phasia (Phasia) takanoi (Draber-Monko)

山北町犬越路 (久保ほか, 1997) .

Leucostomatini

Calyptromyia barbata Villeneuve
秦野市四十八瀬川 (久保ほか, 1997) .

Cylindromyiini

Cylindromyia (Malayocryptera) pandulata (Matsumura)
山北町三国峠, 秦野市水無川 (久保ほか, 1997) ; 伊勢原市大山 (久保ほか, 1997) .

クロヒゲナガハナバエ *Hemyda beelzebul* (Wiedemann)
本種は総目録 (1989) に未収録である.

山北町明神山 (鈴木ほか, 2004) .

Hemyda obscuripennis (Meigen)
総目録 (1989) には本種と次種の分布は, 単に「日本」とあるだけであったが, この記録によって一つの分布地が明らかに出来た意味で貴重なものである.

山北町三国峠 (鈴木ほか, 2004) .

Hemyda vittata (Meigen)
山北町三国峠 (鈴木ほか, 2004) .

文 献

- 阿久津四良, 2005. *Liriomyza* 属ハモグリバエ主要6種の識別法. はなあぶ, (20): 45-50.
新井志保・豊田浩二, 2001. ケブカハチモドキハナアブの生態的知見と神奈川県下での採集例. 神奈川虫報, (136): 27-28.
朝比奈正二郎・石原保・安松京三監修, 1965. 原色昆虫大図鑑 III. 358pp., 156pls. 北隆館, 東京.
古田治・村山茂樹, 2006. ニクバエ科の分類と和名の取り扱いについて. はなあぶ, (21): 59-65.
春沢圭太郎, 2006. ムシヒキアブ研究入門. はなあぶ, (21): 31-50.
早川博文, 1980-1988. アブの分類, 生態とその対策 (1) - (17). 動薬研究, (23) - (29).
早川博文, 1990. 日本産アブ科雌成虫の分類. 東北農試研究資料, (10): 35-49. 51-61.
平嶋義宏監修, 1989. 日本産昆虫総目録. 1768pp.
市田忠夫, 1995. 神奈川県のミバエ科 (I) ~ 脇一郎氏が1994年に採集した標本~. 神奈川虫報 (110): 19-23.
市田忠夫, 1996. 神奈川県のミバエ科 (II) ~ 脇一郎氏が1995年に採集した標本~. 神奈川虫報 (115): 15-18.
伊東憲正, 1999. 関東地方におけるハチモドキハナアブ族3種の記録. はなあぶ, (8): 55-56.

- 伊東憲正, 2002. 神奈川県産双翅目の記録. はなあぶ, (13): 91-95.
- 石綿進一・斎藤和久・小林紀雄, 2005. 神奈川県内河川の底生動物. 299pp. 神奈川県環境科学センター.
- 加賀玲子, 2005. 大磯でヒメハチモドキハナアブを採集. 神奈川虫報, (152): 29.
- 加賀玲子, 2006. 大磯でムツボシハチモドキハナアブを採集. 神奈川虫報, (155): 60.
- 加納六郎・小林洋・河内武, 1998. 千葉県産クロバエ類の知見. 千葉生物誌, 48(1): 61-73.
- 加納六郎・小林洋・河内武, 1999. 千葉県産イエバエ類の知見. 千葉生物誌, 49(1): 18-23.
- Kato, A., 1971. A new species of the genus *Leptozepe* Macquart from Japan (Diptera, Empididae). *Kontyu*, (39): 284-287.
- 小林 貞 2001. 6 章 ユスリカの種類・形態. In: 近藤繁生ら (編) ユスリカの世界, 倍風館, 東京 129-171.
- 久保浩一・宮谷秀明・鈴木裕・塚原一秀・渡弘, 1997. 双翅類, 丹沢大山自然環境総合調査報告書: 102-120.
- 久保浩一, 2000. ハエ目, 円海山地域の昆虫. 神奈川虫報, (130): 347-395.
- 森久保茂, 1950. 丹沢山中のヤマトハマダラカに就いて. 衛生動物 1(2): 40-41.
- 森久保茂・原田文雄, 1952. 神奈川県下の蚊について. 3(3-4): 94-96.
- 守屋博文, 1994. 相模川水系の水生昆虫 I・双翅目: 89-92. 相模原市教育委員会.
- Nagatomi A., M. Sutou and N. Tamaki, 2001. Synopsis of the Japanese *Oxycera*. (Diptera: Stratiomyidae) *Entomological Science*, 4: 523-531.
- 永富 昭・大石久志, 2001. 日本産キアブモドキの同定. はなあぶ, (11): 47-64.
- 中村剛之・脇 一郎, 2004. 神奈川県のカガンボ類・分布資料. 神奈川虫報, (146): 35-41.
- 大場信義, 1981. 神奈川県のカエ類. 神奈川県昆虫調査報告書: 215-216.
- Okada Toyohi, 1968. Addition to the fauna of the family Drosophilidae of Japan and adjacent countries (Diptera). *Kontyu* 36: 303-340.
- Okada Toyohi, 1973. Four new species of Drosophilidae from Japan (Diptera). *Kontyu*, 41: 434-439.
- 大石久志, 1996 ~ 1998. ルーベで調べる身近な縞模様のカナアブの見分け方 (1) ~ (6). 昆虫と自然, 31(4): 42-47. ~ 34(3): 43-46.
- 大石久志, 1998. クヌギに産卵するハチモドキハナアブ. はなあぶ, (6): 30.
- 大石久志, 2003. いわゆる「ルリイロナガハナアブ」とその近似種について—日本産ハナアブ属の再検討. はなあぶ, (15-1): 37-61.
- 大石久志・田川勇治, 1997. 日本産マガリケムシヒキ属の再検討 (1). はなあぶ, (3): 15-37.
- 斉藤一三・金山彰宏・緒方一喜, 1987. ブユの生態に関する研究 10. 神奈川県における春期の採集結果. 応動昆, 31(1): 91-95.
- 斉藤一三・金山彰宏, 1993. 神奈川県産ブユ科 (Simuliidae) の目録. 神奈川自然誌資料, (14): 59-65.
- Shinonaga, S. and R. Kano, 1971. Fauna Japonica. Muscidae, I. 242pp. Keigaku Publ. Co. Tokyo.
- Shinonaga S., 2003. A monograph of the Muscidae of Japan. 347pp. 東京大学出版, 東京.
- 素木得一・徳永雅明・江崎悌三ほか, 1952. 双翅目. 日本昆虫図鑑 改訂版: 1495-1721. 北隆館, 東京.
- Shiraki T., 1968. Fauna Japonica Syrphidae III. 272pp. 日本生物地理学会, 東京.
- 双翅目談話会, 2002. データ・アップ図鑑「日本のハナアブ」. Ver. 1. 266pp. 京都市.
- 末吉昌広, 2000. 皇居のミバエ科昆虫. 国立科学博物館専報, (36): 437-443.
- Sueyoshi M., 2001. A revision of Japanese Sciomyzidae, with description of three new species. *Entomological science*, 4: 485-506.
- Sutou, M., 2002. Immature stages of three Japanese species of the genus *Bibio* Geoffroy. *Entomological Science*, 5: 445-456.
- 須島充昭, 2006. 神奈川県産クロバネキノコバエ科—既知種のリストと新産地—. 神奈川虫報, (154): 27-28.
- 鈴木 裕, 1997. 神奈川県のカエ類覚書. かまくらちょう, (39): 1-18.
- 鈴木 裕, 2004a. ミツオビヒゲナガハナアブを三浦半島で採集. はなあぶ, (17): 94.
- 鈴木 裕, 2004b. オオクシヒゲガガンボ丹沢の記録. *Mushi Mezuru*, (30): 12.
- 鈴木 裕・脇 一郎・久保浩一, 2004. ハエ目. 神奈川昆虫談話会編 神奈川昆虫誌, pp. 845-906. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 高桑正敏, 2003. 神奈川県と山梨県からのハチモドキハナアブの記録. 神奈川虫報, (142): 36.
- 玉木長寿, 1997. 埼玉県の双翅類. 埼玉県昆虫誌 II. 410pp. 埼玉昆虫談話会.
- 脇 一郎, 1999a. 西丹沢三国峠, 切通峠における脈翅類, 長翅目, ハナアブ, ミバエ, キジラミの採集記録 (1997). 神奈川虫報, (126): 13 - 19.
- 脇 一郎, 1999b. 西丹沢西山林道, シダゴ山における脈翅類, 長翅目, ハナアブ, ミバエ, キジラミの採集記録 (1997, 1998). 神奈川虫報, (126): 21-26.
- 脇 一郎, 1999c. 白石沢, 犬越路での脈翅類, 長翅目, ハナアブ, ミバエ, キジラミの採集記録 (1997, 1998). 神奈川虫報, (126): 21-26.
- 脇 一郎, 1999d. 丹沢山での脈翅類, 長翅目, ミバエ, キジラミの採集記録 (1998). 神奈川虫報, (127): 46-48.
- 脇 一郎, 1999e. 大山登山路 (伊勢原市, 秦野市) でのハナアブの採集記録. 神奈川虫報, (128): 36.
- 脇 一郎, 1999f. むなじ坂峠でシロスジナガハナアブを採集. 神奈川虫報, (128): 50-51.
- 脇 一郎, 2001. シママメヒラタアブについて. はなあぶ, (11): 77-86.
- 脇 一郎, 2003a. 神奈川県でのミバエ科昆虫の採集記録. 神奈川虫報, (141): 17-20.
- 脇 一郎, 2003b. 神奈川県でのヤチバエ科昆虫の採集記録. 神奈川虫報, (143): 7-10.
- 脇 一郎, 2003c. 神奈川県でのハナアブ科昆虫の採集記録 (1999-2002). 神奈川虫報, (143): 11-18.
- 脇 一郎, 2004a. 神奈川県での双翅目昆虫の採集記録. 神奈川虫報, (145): 25-41.
- 脇 一郎, 2004b. 厚木市七沢・大山の双翅目. 厚木市郷土資料館資料集 (17) 厚木市七沢の動植物 I, pp. 27-37. 厚木市郷土資料館.
- 脇 一郎, 2005. ニセケバエを捜し求めて花巡り. はなあぶ, (19): 57-66.
- 脇 一郎・大石久志, 2004. 神奈川県でのミギワバエ科昆虫の採集記録 第一報. はなあぶ, (17): 48-55. 3pls.
- 山口 貢, 1967. ガガンボ 4 題. 神奈川虫報, (25): 42-43.